

(様式第9)

関枚発第09X01号
平成21年10月3日

厚生労働大臣 殿

開設者名 大阪府守口市文
学校法人 関西
理事長 塚原

関西医科大学附属枚方病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成20年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	79.6 人
--------	--------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	273人	94人	295.1人	看護業務補助	19人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	0人	0人	0人	理学療法士	9人	臨床検査技師	62人
薬剤師	52人	0人	52.0人	作業療法士	3人	衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0人	視能訓練士	6人	その他	1人
助産師	30人	0人	30.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	720人	42人	750.4人	臨床工学技士	10人	医療社会事業従事者	4人
准看護師	2人	0人	2.0人	栄養士	0人	その他の技術員	10人
歯科衛生士	0人	0人	0人	歯科技工士	0人	事務職員	56人
管理栄養士	5人	5人	5.9人	診療放射線技師	36人	その他の職員	1人

(注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。

2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。

3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	617人	0人	617人
1日当たり平均外来患者数	1,714人	0人	1,714人
1日当たり平均調剤数	675.8 剤		

(注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。

2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。

3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。

4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

1 先進医療の届出受理の有無および取扱い患者数

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症摘出術	有・無	人
膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション(前十字靭帯損傷又は後十字靭帯損傷に係るものに限る。)	有 無	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療(心臓弁又は血管を用いるものであって、組織の凍結保存及び外科治療を同一施設内で行うものに限る。)	有 無	人
胎児心超音波検査(産科スクリーニング胎児超音波検査において心疾患が強く疑われる症例に係るものに限る。)	有 無	人
インプラント義歯(顎骨の過度の吸収により、従来の可撤性義歯では咀嚼機能の回復が困難なものに限る。)	有 無	人
顎顔面補綴(腫瘍手術、外傷及び炎症その他の原因により顔面領域に生じた広範囲の実質欠損に係るものに限る。)	有 無	人
顎関節症の補綴学的治療(顎関節症(顎関節内障、下顎頭の著しい変形及び顎関節円板の断裂を除く。))に係るものに限る。)	有 無	人
経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法(神経の障害による運動麻痺又は骨・関節手術後の筋萎縮に係るものに限る。)	有 無	人
人口括約筋を用いた尿失禁の治療	有 無	人
光学印象採得による陶材歯冠修復法(歯冠部齶蝕の修復に係るものに限る。)	有 無	人
経皮的レーザー椎間板減圧術(内視鏡下によるものを含み、椎間板ヘルニアに係るものに限る。)	有 無	人
造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定(白血病、悪性リンパ腫又は多発性骨髄腫その他の造血器悪性腫瘍に係るものに限る。)	有 無	人
スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法(手術が予定されている者で、悪性高熱症が強く疑われる者に係るものに限る。)	有 無	人
CTガイド下気管支鏡検査(肺腫瘍に係るものに限る。)	有 無	人
先天性血液凝固異常症の遺伝子診断(アンチトロンビン欠乏症、第Ⅶ因子欠乏症、先天性アンチトロンビンⅢ欠乏症、先天性ヘパリンコファクターⅡ欠乏症又は先天性プラスミノゲン欠乏症に係るものに限る。)	有 無	人
筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有 無	人
SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有 無	人
三次元形状解析による顔面の形態的診断(頭蓋、顔面又は頸部の変形性疾患に係るものに限る。)	有 無	人
HDRA法又はCD-DST法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん、(根治度Cの胃がんを除く。)、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有 無	人
子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断(子宮頸部軽度骨異形成に係るものに限る。)	有 無	人
腹腔鏡下肝部分切除術(肝外側区域切除術を含み、肝腫瘍に係るものに限る。)	有 無	人
悪性腫瘍に対する陽子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有 無	人
エキシマレーザーによる治療的角膜切除術(角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。)	有 無	人
成長障害のDNA診断(特発性低身長症に係るものに限る。)	有 無	人
門脈圧亢進症に対する経経静脈肝内門脈大循環経路術(内視鏡的治療若しくは薬物治療抵抗性の食道静脈瘤又は胃静脈瘤、門脈圧亢進症性胃腸症、難治性腹水又は、難治性肝性胸水に係るものに限る。)	有 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
乳房温存療法における鏡視下腋窩廓清術(主に乳房温存手術が可能なステージⅠ又はⅡの乳がんに係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
声帯内自家側頭筋膜移植術(一側性反回神経麻痺又は声帯溝症に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
骨髄細胞移植による血管新生療法(閉塞性動脈硬化症、バージャー病(従来の治療法に抵抗性のもので、フォンタン分類Ⅲ度又は同分類Ⅳ度のものに限る。))に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
ミトコンドリア病のDNA診断(高乳酸血症その他のミトコンドリア機能低下が疑われる疾患に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
鏡視下肩峰下腔除圧術(透析アミロイド肩関節症又は腱板断裂、五十肩若しくは関節リウマチその他の原因による肩インピンジメント症候群に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
神経変性疾患のDNA診断(ハンチントン舞蹈病、脊髄小脳変性症、球脊髄性筋萎縮症、家族性筋萎縮性側索硬化症、家族性低カリウム血症性周期性四肢麻痺又はマックリード症候群その他の神経変性疾患に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術(再発翼状片、角膜上皮欠損(角膜移植によるものを含む。)、角膜穿孔、角膜化学腐食、角膜癒着、瞼球癒着(ステューブ・ジョンソン症候群、眼類天疱瘡、熱・化学外傷癒着その他の重症の癒着性角結膜疾患を含む。))結膜上皮内過形成又は結膜腫瘍その他の眼表面疾患に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
重粒子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術(原発性脊椎腫瘍又は転移性脊椎腫瘍に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
31P-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断(糖尿病性足病変危険郡と考えられる糖尿病患者に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
神経芽腫のRNA診断	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療(腰椎椎間板ヘルニア、腰部椎管狭窄症又は腰椎手術の実施後の腰下肢痛(保存治療に抵抗性のものに限る。))に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
重症BCG副反応症例における遺伝子診断(BCG副反応症例又は非定型抗酸菌感染で重症、反復若しくは難治である場合に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体窒素処理骨移植	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
膵腫瘍に対する腹腔鏡下補助下膵切除(インスリノーマ、脾動脈瘤、粘液性嚢胞腫瘍、膵管内腫瘍その他の膵良性腫瘍に係る膵体尾部切除又は核出術に限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断(マントル細胞リンパ腫の補助診断として用いるものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
悪性腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断(急性期又は慢性期のQ熱に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
エキシマレーザー冠動脈形成術(経皮的冠動脈形成術(エキシマレーザー冠動脈形成術を除く。))による治療が困難なもの慢性完全閉塞のもの又はこれに準ずるものに係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
活性化Tリンパ球移入療法(原発性若しくは続発性の免疫不全症の難治性日和見感染症又は慢性活動性EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術(膀胱尿管逆流症(国際分類グレードVの高度逆流症を除く。))に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術(泌尿生殖器腫瘍のリンパ節転移又は画像上リンパ節転移が疑われるものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植(HLA適合ドナーがないために造血幹細胞移植が受けられない小児のがん、難治性造血障害又は免疫不全症に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/>	人
頰椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術(頰椎椎間板ヘルニア(画像診断上椎間板繊維輪の破綻していないヘルニアであって、神経根症が明らかであり保存治療に抵抗性のもの(後縦靭帯骨化症、脊椎管狭窄状態又は脊椎症状のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/>	人
ケラチン病の遺伝子診断(水疱型魚鱗癬様紅皮症又は単純型表皮水疱症その他の遺伝子異常に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/>	人
隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有 <input type="radio"/>	人
末梢血幹細胞による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/>	人
末梢血単核球移植による血管再生医療(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/>	人
一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術(双胎間輸血症候群に罹患した一絨毛膜性双胎妊娠の症例(妊娠十六週から二十六週に限る。))に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/>	人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法(肺がん又は気管支前がん病変に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/>	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断(ウィルソン病、メンケス病又はオクシピタルホーン症候群に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/>	人
超音波骨折治療法(四肢の骨折(治療のために手術中に行われるものを除く。))のうち、観血的手術を実施したもの(開放骨折又は粉碎骨折に係るものを除く。))に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/>	人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテーラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法(ヘリコバクター・ピロリ感染を伴う胃潰瘍又は十二指腸潰瘍に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/>	人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存(骨又は靭帯の再建術であって、先天性疾患、外傷性(欠損性又は感染性偽関節に係るもの)に限る。)、骨腫瘍切除後、関節固定術時若しくは人口関節置換術時(初回又は再置換術時に限る。))の広範囲欠損、脊椎固定術時の骨融合促進又は靭帯断裂による関節不安定症に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/>	人
X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除術(難治性根尖性歯周炎であって、通常の根管治療では効果がみとめられないもの)に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/>	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価(骨粗鬆症、骨変形若しくは骨腫瘍又は骨腫瘍掻爬術後若しくは骨髄炎掻爬術後の症状に係るもの)に限る。)	有 <input type="radio"/>	人
膀胱水圧拡張術(間質性膀胱炎に係るもの)に限る。)	有 <input type="radio"/>	人
色素性幹皮症に係る遺伝子診断	有 <input type="radio"/>	人
先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断	有 <input type="radio"/>	人
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法(歯周炎による重度垂直性骨欠損に係るもの)に限る。)	有 <input type="radio"/>	人
セメント固定人口股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術(人工股関節のたるみに係るもの)に限る。)	有 <input type="radio"/>	人
腹腔鏡下直腸固定術(直腸脱に係るもの)に限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	9 人
骨移動術による関節温存型再建(骨軟部腫瘍切除後の骨欠損に係るもの)に限る。)	有 <input type="radio"/>	人
肝切除手術における画像支援ナビゲーション(原発性肝がん、肝内胆管がん、転移性肝がん又は生体肝移植ドナーに係るもの)に限る。)	有 <input type="radio"/>	人
樹上細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法(腫瘍抗原を発現する消化管腫瘍(食道がん、胃がん又は大腸がん)、進行再発乳がん又は原発性若しくは転移性肺がんに係るもの)に限る。)	有 <input type="radio"/>	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有 (無)	人
自己腫瘍・組織及び樹上細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有 (無)	人
リアルタイムPCRを用いた迅速診断(EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有 (無)	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術(尿管腫瘍、膀胱腫瘍、後腹膜腫瘍、後腹膜リンパ節腫瘍(精巣がんから転移したのものに限る。))又は骨盤リンパ節腫瘍(泌尿器科がんから転移したのものに限る。))に係るものに限る。)	有 (無)	人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術(白内障に係るものに限る。)	有 (無)	人
先天性難聴の遺伝診断(遺伝性による先天性難聴が疑われるものに限る。)	有 (無)	人
フェニルケトン尿症の遺伝子診断(フェニルケトン尿症、高フェニルアラニン血症又はヒオプテリン反応性フェニルアラニン水酸化酵素欠損症に係るものに限る。)	有 (無)	人
培養細胞による先天性代謝異常診断(先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))に罹患する可能性の高い胎児もしくは新生児又は先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))が疑われる小児に係るものであって、酵素補助療法による治療ができないものに限る。)	有 (無)	人
腹腔鏡下子宮体がん根治術(手術進行期分類 I b期までの子宮体がんに係るものに限る。)	有 (無)	人
培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	有 (無)	人
RET遺伝子診断(甲状腺髄様癌に係るものに限る。)	有 (無)	人
角膜ジストロフィの遺伝子解析(角膜ジストロフィと診断された症例に係るものに限る。)	有 (無)	人
強度変調放射線治療(局限性の固型悪性腫瘍(頭頸部腫瘍、前立腺腫瘍又は中枢神経腫瘍であって原発性のものを除く。))に係るものに限る。)	有 (無)	人
マイクロ波子宮内膜アブレーション(機能性及び器質性過多月経症(ただし、妊孕性の温存が必要な場合又は子宮内膜がん、異形内膜増殖症その他の悪性疾患又はその疑いがある場合を除く。))であって子宮壁厚十ミリメートル以上の症例に係るものに限る。)	有 (無)	人
抗EGFR抗体医薬投与前におけるKRAS遺伝子変異検査(EGFR陽性の治癒切除不能な進行又は再発の結腸又は直腸がんに係るものに限る。)	有 (無)	人
光トポグラフィー検査を用いたうつ病の鑑別診断補助(ICD-10(統計法第二十八条及び附則第3条の規定に基づき、疾病、傷害及び死因に関する分類の名称及び分類表を定める件(平成二十一年総務省告知第七十六号)の「(1) 疾病、傷害及び死因の統計分類基本分類表」に規定する分類をいう。))においてF2(統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害)に分類される疾病及びF3(気分(感情)障害)に分類される疾病のいずれかの疾病の患者であることが強く疑われるうつ症状の者(器質的疾患に起因するうつ症状の者を除く。))に係るものに限る。)	有 (無)	人
内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術(下枝慢性静脈不全症(下腿の広範囲の皮膚に色素沈着、硬化若しくは萎縮が起こり、又は潰瘍を有するとともに、超音波検査により穿通枝の血流が逆流していることが確認され、かつ、従来の外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有 (無)	人
歯科用CAD・CAMシステムを用いたハイブリッドレジンによる歯冠補綴(小臼歯の重度の齶蝕に対して全部被覆冠による歯冠補綴が必要な場合に限る。)	有 (無)	人
大腸腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術(早期大腸がん(EMR(内視鏡的粘膜切除術をいう。以下同じ。))では一括切除が困難な二センチメートル以上の病変であって、拡大内視鏡診断又は超音波内視鏡診断による十分な術前評価の結果、根治性が期待できるものに限る。))又は腺腫(EMRを実施した際の病変の挙上不良なもの又はEMRを実施した後に遺残又は再発したものであってEMRでは切除が困難な一センチメートル以上の病変のものに限る。))に係るものに限る。)	有 (無)	人
実物大臓器立体モデルによる手術支援(骨盤、四肢骨又は関節に著しい変形又は欠損を伴う疾患又は外傷に係るものに限る。)	有 (無)	人
無拘束型多点減圧シートセンサを用いた検査(閉塞性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる症状(習慣性がある激しいいびき、日中の傾眠等をいう。))及び所見(肥満、薬物療法に対して抵抗性を有する高血圧等をいう。))が認められる者又は中枢性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる慢性心不全の者に係るものに限る。)	有 (無)	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術(頸部良性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有 <input type="radio"/> 無	人
腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術(転移性脊椎骨腫瘍、骨粗鬆症による脊椎骨節又は難治性疼痛を伴う椎体圧迫骨折若しくは臼蓋骨折に係るものに限る。)	<input type="radio"/> 有 無	40 人
悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	有 <input type="radio"/> 無	人
カフェイン併用化学療法(骨肉腫、悪性線維性組織球腫、滑膜肉腫又は明細胞肉腫その他の骨軟部悪性腫瘍に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無	人
胎児尿路・羊水腔シャント術(プルーン・ベリー症候群その他の胎児閉塞性尿路疾患に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無	人
筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療(ジストニア、痙性麻痺その他の局所の筋過緊張を呈する病態に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無	人
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(胸部悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	<input type="radio"/> 有 無	0 人
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(腎悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	<input type="radio"/> 有 無	0 人
内視鏡下甲状腺がん手術(手術の実施後、予後のよい甲状腺乳頭がんに係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無	人
骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法(転移性骨腫瘍で既存の治療法により制御不良なもの又は類骨腫(診断の確実なものに限る。))に係るものに限る。)	<input type="radio"/> 有 無	4 人
下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法(一次性下肢静脈瘤に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無	人
胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術(特発性又は既知の胎児先天性感染による胸水を主たる徴候とする非免疫性胎児水腫症(NIHF)例であって、胸腔穿刺後一週間以降に胸水の再貯溜が認められるもの(妊娠二十週から三十四週未満に限る。))に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無	人
早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有 <input type="radio"/> 無	人
副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法(二次性副甲状腺機能亢進症に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無	人
腹腔鏡補助下肝切除術(部分切除及び外側区域切除を除く。)	有 <input type="radio"/> 無	人
根治的前立腺全摘除術における内視鏡下手術ロボット支援(前立腺がんに係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無	人
内視鏡下手術用ロボットを用いた冠動脈バイパス手術(虚血性心疾患に係るものであって、一箇所を吻合するものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無	人

(注)1「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	84人	・モヤモヤ病(ウイルス動脈輪閉塞症)	15人
・多発性硬化症	6人	・ウェゲナー肉芽腫症	26人
・重症筋無力症	39人	・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	28人
・全身性エリテマトーデス	326人	・多系統萎縮症	5人
・スモン	1人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	1人
・再生不良性貧血	60人	・膿疱性乾癬	4人
・サルコイドーシス	144人	・広範脊柱管狭窄症	1人
・筋萎縮性側索硬化症	3人	・原発性胆汁性肝硬変	191人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	133人	・重症急性膵炎	16人
・特発性血小板減少性紫斑病	161人	・特発性大腿骨頭壊死症	78人
・結節性動脈周囲炎	13人	・混合性結合組織病	20人
・潰瘍性大腸炎	176人	・原発性免疫不全症候群	19人
・大動脈炎症候群	25人	・特発性間質性肺炎	13人
・ピュルガー病	33人	・網膜色素変性症	100人
・天疱瘡	41人	・プリオン病	0人
・脊髄小脳変性症	11人	・原発性肺高血圧症	6人
・クローン病	84人	・神経線維腫症	69人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	6人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・悪性関節リウマチ	26人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	3人
・パーキンソン病関連疾患	191人	・特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型)	1人
・アミロイドーシス	34人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	4人
・後縦靭帯骨化症	126人	・副腎白質ジストロフィー	2人
・ハンチントン病	1人		

(注) 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	臨床検査部：血糖103回、小児科2回(顕微鏡を用いて) 病理部：腎生検48回、乳ガン48回、胃ガンカンファレンス12回、剖検36回	
剖検の状況	剖検症例数 42 例	剖検率 8.6 %

1. 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
神経板の発達における遺伝子発現に関する検討 ー特に外胚葉・中胚葉との関連についてー	稲垣 隆介	脳神経外科	200,000	補 委	文部科学省 科学研究費補助金
末梢血流動態から見た各種病態における運動耐容能および運動療法効果の検討	木村 穰	第二内科	500,000	補 委	文部科学省 科学研究費補助金
経皮的生体内管腔臓器バイパス術の開発	澤田 敏	放射線科	2,200,000	補 委	文部科学省 科学研究費補助金
噴門側胃切除後の残胃運動機能に関する臨床研究	中根 恭司	外科	600,000	補 委	文部科学省 科学研究費補助金
急性脳虚血における白質病変の重要性と治療に関する研究	中尾 慎一	麻酔科	1,600,000	補 委	文部科学省 科学研究費補助金
泌尿器腹腔鏡手術における技術評価方法に関する研究	松田 公志	泌尿器科	300,000	補 委	文部科学省 科学研究費補助金
一酸化窒素の産生誘導を指標とした小腸移植における腸管適応促進剤のスクリーニング	濱田 吉則	外科	1,200,000	補 委	文部科学省 科学研究費補助金
脂肪組織幹細胞から誘導した骨による3次元形状骨の形成に関する研究	楠本 健司	形成外科	1,100,000	補 委	文部科学省 科学研究費補助金
自己免疫性膵炎および硬化性胆管炎における発症機序と進展に関する免疫学的研究	岡崎 和一	第三内科	1,500,000	補 委	文部科学省 科学研究費補助金
ファイブロネクチンを用いた多剤耐性緑膿菌制御の検討	権 雅憲	外科	1,400,000	補 委	文部科学省 科学研究費補助金
難治性疼痛を有する脊椎圧迫骨折に対する椎体形成術の除痛機序の実験的解明	谷川 昇	放射線科	1,100,000	補 委	文部科学省 科学研究費補助金
手術用ナビゲーションシステムを用いた術者の技能評価と手術教育プログラム	友田 幸一	耳鼻咽喉科	500,000	補 委	文部科学省 科学研究費補助金
虚血性心疾患における酸化ストレスの2面性と抗酸化療法ジレンマに関する研究	岩坂 壽二	第二内科	1,800,000	補 委	文部科学省 科学研究費補助金

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
2「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
3「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

1. 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又委託元
生体吸収性高分子化合物を用いた肺痿修復剤の開発	小島 博之	放射線科	500,000	補 委 文部科学省 科学研究費補助金
左室拡張能と炎症反応性蛋白による心房細動、脳梗塞の予測と予後に関する検討	宮坂 陽子	第二内科	100,000	補 委 文部科学省 科学研究費補助金
息止め撮影によるFDG-PET画質向上の基礎的検討:呼吸同期撮影との比較	上埜 泰寛	放射線科	1,200,000	補 委 文部科学省 科学研究費補助金
再生医療的アプローチによる肺移植後虚血再還流障害の予防	金田 浩由紀	胸部心臓血管外科	800,000	補 委 文部科学省 科学研究費補助金
脳虚血障害により誘導される神経新生・再生メカニズムの解析	上村 幸子	麻酔科	600,000	補 委 文部科学省 科学研究費補助金
家兎肋軟骨を用いた移植肋軟骨の彎曲変形に関する実験的研究	竹本 剛司	形成外科	1,000,000	補 委 文部科学省 科学研究費補助金
ファーマコゲノミクス情報に基づいた医薬品の有効性及び安全性評価系の開発と医薬品開発への応用	奥川 学	精神神経科	999,000	補 委 厚生労働省 科学研究費補助金
炎症性腸疾患の画期的治療法に関する臨床研究	岡崎 和一	第三内科	12,600,000	補 委 厚生労働省 科学研究費補助金
難知性痺疾患に関する調査研究	岡崎 和一	第三内科	1,000,000	補 委 厚生労働省 科学研究費補助金
「重症クローン病患者に対するタクロリムス治療」に向けての臨床試験の実施に関する研究	岡崎 和一	第三内科	4,000,000	補 委 厚生労働省 科学研究費補助金
小児等の特殊患者に対する医薬品の製剤改良その他有効性及び安全性の確保のあり方に関する研究	石崎 優子	小児科	500,000	補 委 厚生労働省 科学研究費補助金
希少がん(悪性脳腫瘍)の個別適正化治療のためのTRI(Translation Research Information)システムの構築	浅井 昭雄	脳神経外科	2,000,000	補 委 厚生労働省 科学研究費補助金
転移性骨腫瘍に対する経皮的ラジオ波凝固療法に関する研究	谷川 昇	放射線科	1,000,000	補 委 厚生労働省 科学研究費補助金

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
2「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
3「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

1. 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又委託元	
リハビリテーション患者データバンク(DB)の開発	吉田 清和	リハビリテーション科	100,000	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金
発達期における骨格系と脳脊髄液循環動態の発生的特性に基づく高次脳脊髄機能障害の治療および総合医療に関する研究	稲垣 隆介	脳神経外科	300,000	補 委	厚生労働省 精神・神経疾患研究 委託費
前立腺手術周術期管理の標準化に関する研究	松田 公志	泌尿器科	500,000	補 委	厚生労働省 長寿医療研究委託費
				補 委	
				補 委	
				補 委	
				補 委	
				補 委	
				補 委	
				補 委	
				補 委	
				補 委	
				補 委	
				補 委	
				補 委	

計29件

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
 2「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
 3「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
International immunology 20(7):811-818,2008	Bam32: a novel mediator of Erk activation in T cells.	Miyaji m	血液呼吸器膠原病内科
International immunology 20(10):1321-1329, 2008	Mycobacterium bovis Bacillus Calmette-Guerin suppresses inflammatory Th2 responses by inducing functional alteration of TSLP-activated dendritic cells.	Yokoi T	血液呼吸器膠原病内科
Journal of immunology 181(8):5340-5349, 2008	Imidazoquinoline acts as immune adjuvant for functional alteration of thymic stromal lymphopoietin-mediated allergic T cell response.	Torii Y	血液呼吸器膠原病内科
Leukemia & lymphoma 49(1):113-121,2008	The expression of anamorsin in diffuse large B cell lymphoma: Possible prognostic biomarker for low IPI patients.	Fukuhara S	血液呼吸器膠原病内科
Modern rheumatology 18(4):407-410,2008	Successful treatment with plasma exchange in adult-onset Still's disease with hyper-IL-18-naemia and hyperallergic state.	Ozaki Y	血液呼吸器膠原病内科
Platelets 19(3):192-198,2008	Significance of microparticles in progressive systemic sclerosis with interstitial pneumonia.	Ozaki Y	血液呼吸器膠原病内科
実験医学 26(20):3229-3235, 2008	樹状細胞を介する免疫応答制御 6.樹状細胞サブセットによるOX40リガンドおよびICOSリガンドを介する向炎症・抗炎症免疫応答の制御	福原 資郎	血液呼吸器膠原病内科
日本臨床免疫学会誌 31(1):56-60,2008	縦隔気腫を合併した多発性筋炎・皮膚筋炎の3症例	尾崎 吉郎	血液呼吸器膠原病内科
臨床免疫・アレルギー科 50(4):486-492, 2008	OX40リガンドによるTr1細胞誘導の制御	福原 資郎	血液呼吸器膠原病内科
American Journal of Gastroenterology 103(9):2401,2008	Improved polyp detection: Narrow-band imaging colonoscopy with a transparent retractable extension device.	Matsushita M	消化器内科
American Journal of Gastroenterology 103(6):1569-1570, 2008	Effective injection site on endoscopic injection therapy for postsphincterotomy bleeding: apex or oral?	Matsushita M	消化器内科
American Journal of Gastroenterology 103(6):1568-1569, 2008	Much colonic surface visualization by a standard colonoscope with a transparent hood.	Matsushita M	消化器内科
American Journal of Gastroenterology 103(12):3218-3219, 2008	"Short" double-balloon enteroscope for diagnostic and therapeutic ERCP in patients with altered gastrointestinal anatomy.	Matsushita M	消化器内科
American journal of gastroenterology 103(7):1834-1835, 2008	Refractory autoimmune pancreatitis: azathioprine or steroid pulse therapy?	Matsushita M	消化器内科
American journal of gastroenterology 103(3):595-596, 2008	Are regulatory molecules for T cells involved in the development of autoimmune pancreatitis?	Okazaki K	消化器内科
Digestive Diseases and Sciences 53(2):594-595, 2008	Brunner's gland hamartomas: endoscopic submucosal dissection versus snare polypectomy.	Matsushita M	消化器内科

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Digestive Diseases and Sciences 53(2):592-593, 2008	Dermatomyositis accompanied by bleeding esophageal diverticula or intramural pseudodiverticulosis?	Matsushita M	消化器内科
Digestive Endoscopy 20(4):213-216,2008	Characteristic intraductal ultrasonographic features of portal biliopathy.	Ikeura T	消化器内科
Endoscopy 49(8):706,2008	Is closure of large mucosal defects after endoscopic mucosal resection and endoscopic submucosal dissection truly needed?	Matsushita M	消化器内科
Endoscopy 40(12):1055,2008	Detection of colorectal polyps behind the folds: A transparent hood or the third eye retoscope?	Matsushita M	消化器内科
Endoscopy 40(10):875-876, 2008	Small papilla: another risk factor for post-sphincterotomy perforation.	Matsushita M	消化器内科
Gastroenterology and Hepatology 4(6):417-426, 2008	Recent advances in autoimmune pancreatitis	Okazaki K	消化器内科
Gastrointestinal Endoscopy 68(4):812-813, 2008	Closure of post-EMR mucosal defects: to need or not to need, that is the question.	Matsushita M	消化器内科
Gastrointestinal Endoscopy 68(4):811,2008	Association of hyperamylasemia and longer duration of peroral double-balloon enteroscopy: present and future.	Matsushita M	消化器内科
Gastrointestinal Endoscopy 68(3):572-573, 2008	Endoscopic injection therapy for a bleeding exposed vessel in Crohn's disease.	Toyonaga T	消化器内科
Gastrointestinal Endoscopy 67(7):1211-1212, 2008	Diagnosis of peritoneal carcinomatosis: transgastric versus transrectal EUS-guided FNA or percutaneous paracentesis.	Matsushita M	消化器内科
Gastrointestinal Endoscopy 67(1):191,2008	Endoscopic snare resection of papillary-type early bile duct cancers.	Matsushita M	消化器内科
Gastrointestinal Endoscopy 67(1):189-190, 2008	Endoscopic band ligation for cardiac variceal bleeding: safe or fatal?	Matsushita M	消化器内科
Gut 57(9):1334,2008	More polyp detection: narrow-band imaging or a transparent hood?	Matsushita M	消化器内科
Inflammatory Bowel Diseases 14(5):728-730,2008	Crohn's disease accompanied by purulent discitis and psoas abscesses.	Sumimoto K	消化器内科
Inflammatory bowel diseases 14(6):826-838,2008	Subcutaneous adipose tissue-derived stem cells facilitate colonic mucosal recovery from 2,4,6-trinitrobenzene sulfonic acid (TNBS)-induced colitis in rats.	Ando Y	消化器内科
Internal Medicine 47(12):1161,2008	Effective "Coca-Cola" therapy for phytobezoars.	Matsushita M	消化器内科

(注)1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Journal of Gastroenterology 43(10):809,2008	Narrow-band imaging colonoscopy with a transparent hood for more polyp detection.	Matsushita M	消化器内科
Journal of gastroenterology 43(6):409-418, 2008	Recent advances in autoimmune pancreatitis: concept, diagnosis, and pathogenesis.	Okazaki K	消化器内科
Scandinavian Journal of Gastroenterology 43(8):1016-1017,	Complete endoscopic resection of large sessile or flat colorectal polyps with high-magnification chromoendoscopy or endoscopic submucosal dissection.	Matsushita M	消化器内科
Gastroenterological Endoscopy 50(4):1109-1114, 2008	パルミチン酸デキサメタゾンの静注が有効であった単純性潰瘍の1例	島谷 昌明	消化器内科
肝・胆・膵 56(2):215-221, 2008	【自己免疫性膵炎の最近の進展】自己免疫性膵炎の診断 活動度評価	岡崎 和一	消化器内科
胆と膵 29(7):667-671, 2008	膵・胆管合流異常を有した胆管拡張症に対する胆管十二指腸吻合術40年後に発症した胆管癌の1例	住本 貴美	消化器内科
日本消化器病学会雑誌 105(4):486-493,2008	【自己免疫性膵炎の新展開】自己免疫性膵炎の診断 海外とわが国の診断基準の比較	岡崎 和一	消化器内科
日本大腸検査学会雑誌 25(1):56-60,2008	当院における大腸内視鏡検査の臨床的検討 高齢者群と非高齢者群の比較	藤井 寿仁	消化器内科
分子消化器病 5(2):170-177,2008	消化器疾患の分子生物学 自己免疫性膵炎(IgG4 disease)	岡崎 和一	消化器内科
分子消化器病 5(1):82-87,2008	シグナル伝達を理解するために必要な知識 HGFによるシグナル伝達	岡崎 和一	消化器内科
臨床研修ブラクティス 5(6):54-58,2008	【病棟当直でこんな症状を訴えられたら やっておくべきこと・やってはいけないこと】下痢をした	岡崎 和一	消化器内科
臨床消化器内科 23(10):1457-1466, 2008	【膵炎診療をめぐる最近の動向 ガイドライン、診断基準を含めて】自己免疫性膵炎の臨床診断基準 現状と問題点	岡崎 和一	消化器内科
Acta chirurgica Belgica 108(1):52-57,2008	Intestinal transplantation: from the laboratory to the clinics.	Takahashi K	外科
American journal of physiology. Gastrointestinal and liver physiology 294(1):G236-G244,2008	Protection of transplant-induced hepatic ischemia/reperfusion injury with carbon monoxide via MEK/ERK1/2 pathway downregulation.	Toyokawa H	外科
Annals of hematology 87(10):797-807, 2008	Contribution of neural cell adhesion molecule (NCAM) to hemopoietic system in monkeys.	Okazaki S	外科
Anticancer research 23(3B):1749-1756, 2008	Impact of fresh frozen plasma on hepatectomy for hepatocellular carcinoma.	Kaibori M	外科

(注)1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Cancer chemotherapy and pharmacology 61(3):509-514,2008	A phase II study of trastuzumab and capecitabine for patients with HER2-overexpressing metastatic breast cancer: Japan Breast Cancer Research Network (JBCRN) 00 Trial.	Yamamoto D	外科
Cancer investigation 26(4):385-390,2008	FKBP51 expressed by both normal epithelial cells and adenocarcinoma of colon suppresses proliferation of colorectal adenocarcinoma.	Mukaida H	外科
Clinical and experimental immunology 154(2):285-293,2008	High mortality rate of (NZW x BXSB)F1 mice induced by administration of lipopolysaccharide attributes to high production of tumour necrosis factor- α by increased numbers of dendritic cells.	Mukaida H	外科
Clinical and experimental immunology 152(1):153-162,2008	Prevention of graft-versus-host disease by intrabone marrow injection of donor T cells: involvement of bone marrow stromal cells.	Miyake T	外科
Digestive diseases and sciences 53(3):850-855, 2008	Liver Regeneration in Donors Evaluated by Tc-99m-GSA Scintigraphy after Living Donor Liver Transplantation.	Kaibori M	外科
European journal of pediatrics 167(1):103-105,2008	Pentalogy of Cantrell with a double-outlet right ventricle: 3.5-Year follow-up in a prenatally diagnosed patient.	Takada K	外科
HPB 10(4):289-295,2008	Long-term outcome of hepatocellular carcinoma patients who underwent liver resection using microwave tissue coagulation.	Satoi S	外科
Hemoglobin 32(3):287-296,2008	Analyses of expression of cytoglobin by immunohistochemical studies in human tissues.	Mukaida H	外科
Hepato-gastroenterology 55(8):2151-2156, 2008	Risk factors for early death due to recurrence after resection of large hepatocellular carcinomas	Kaibori M	外科
Hepatology 47(2):686-697,2008	Natural antisense transcript stabilizes inducible nitric oxide synthase messenger RNA in rat hepatocytes	Matsui K	外科
Immunobiology 213(6):455-468,2008	Facilitation of hematopoietic recovery by bone grafts with intra-bone marrow-bone marrow transplantation.	Okazaki S	外科
Immunobiology 213(5):427-435,2008	Administration of granulocyte colony-stimulating factor to recipients followed by intra-bone marrow-bone marrow transplantation accelerates acceptance of allogeneic bone marrow cells in mice.	Mukaida H	外科
Journal of hepatology 48(2):289-299,2008	Na(+)/H(+) exchanger inhibitor, FR183998, has protective effect in lethal acute liver failure and prevents iNOS induction in rats.	Kaibori M	外科
Journal of surgical oncology 97(3):241-254,2008	Unsuspected gallbladder cancer diagnosed during or after laparoscopic cholecystectomy.	Kwon AH	外科
The Journal of surgical research 145(1):57-65,2008	Protective Effect of Neutrophil Elastase Inhibitor (FR136706) in Lethal Acute Liver Failure Induced by D-Galactosamine and Lipopolysaccharide in Rats.	Kaibori M	外科
Liver transplantation 14(3):346-357,2008	Relative contribution of direct and indirect allorecognition in developing tolerance after liver transplantation	Toyokawa H	外科

(注)1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原簿論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Nitric oxide : biology and chemistry 18(2):105-112,2008	Edaravone prevents iNOS expression by inhibiting its promoter transactivation and mRNA stability in cytokine-stimulated hepatocytes.	Yoshida H	外科
Nitric oxide : biology and chemistry 18(1):28-36,2008	Rebamipide, anti-gastric ulcer drug, up-regulates the induction of iNOS in proinflammatory cytokine-stimulated hepatocytes.	Tokuhara K	外科
Nitric oxide : biology and chemistry 18(1):19-27,2008	Pitavastatin up-regulates the induction of iNOS through enhanced stabilization of its mRNA in pro-inflammatory cytokine-stimulated hepatocytes.	Hamada Y	外科
Nutrition and cancer 60(5):643-651,2008	Immunological effect of active hexose correlated compound (AHCC) in healthy volunteers: a double-blind, placebo-controlled trial.	Matsui Y	外科
Oncology 74(1-2):37-41,2008	Phase II study of a combination of S-1 and paclitaxel in patients with unresectable or metastatic gastric cancer.	Inoue K	外科
Pancreas 37(2):128-133,2008	A new guideline to reduce postoperative morbidity after pancreaticoduodenectomy.	Satoi S	外科
Pancreas 36(1):e26-e32,2008	Neoadjuvant chemoradiation in patients with potentially resectable pancreatic cancer.	Satoi S	外科
Shock 30(6):734-739,2008	Edaravone inhibits the induction of iNOS gene expression at transcriptional and posttranscriptional steps in murine macrophages.	Yoshida H	外科
Shock 30(6):734-739,2008	Protective effect of FR183998, a Na ⁺ /H ⁺ exchanger inhibitor, and its inhibition of iNOS induction in hepatic ischemia-reperfusion injury in rats.	Ishizaki M	外科
Shock 30(2):212-216,2008	Edaravone prevents Fas-induced fulminant hepatic failure in mice by regulating mitochondrial Bcl-xL and Bax.	Kwon AH	外科
Shock 30(2):212-216,2008	Insulin-like growth factor 1 prevents liver injury through the inhibition of TNF- α and iNOS induction in D-galactosamine and LPS-treated rats.	Kaibori M	外科
Stem cells 26(2):330-338,2008	Characterization of Transplanted GFP+ Bone Marrow Cells into Adipose Tissue	Toyokawa H	外科
Stem cells and development 17(4):629-639,2008	Successful acceptance of adult liver allografts by intra-bone marrow-bone marrow transplantation.	Okazaki S	外科
Transplantation proceedings 40(8):2837-2839, 2008	Usefulness of TC-99M GSA Liver Scintigraphy for the Assessment of Recurrent Hepatitis C After Living-Donor Liver Transplantation: A Case Report.	Kaibori M	外科
Transplantation proceedings 40(8):2457-2459, 2008	Usefulness of Tc-99m GSA liver scintigraphy for the evaluation of liver regeneration in donors after living-donor liver transplantation.	Kaibori M	外科
World journal of surgery 32(11):2410-2418, 2008	HA/GSA-Rmax Ratio as a Predictor of Postoperative Liver Failure.	Kaibori M	外科

(注)1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原簿論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なるものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Biotherapy 22(3):177-184,2008	免疫賦活成分Lentinan含有食品の切除不能および再発乳癌に対する有効性の検討	松井 陽一	外科
外科治療 99(1):40-47,2008	【癌治療クリニカルパスUpdate】膵臓癌手術	里井 壯平	外科
癌の臨床 54(9):729-733,2008	【外科医が主体のスタンダード大腸癌化学療法】mFOLFOX6 毒性軽減のための工夫	岩本 慈能	外科
小児外科 40(7):843-846,2008	発赤,圧痛および熱感を伴わない頸部膿瘍を反復する症例-第54回小児外科わからん会報告-	濱田 吉則	外科
小児外科 40(7):829-833,2008	新生児外科と周術期管理-Up-to-date 新生児肝芽腫の緊急手術における周術期管理	高田 晃平	外科
小児外科 40(4):395-399,2008	小児内視鏡外科における術中・術後合併症とその対策 術中血管損傷の予防と対策	濱田 吉則	外科
消化器外科 31(5):760-765,2008	【胃癌のすべて】胃癌の治療 胃癌に対する手術 胃全摘後の空腸パウチ間置再建術	中根 恭司	外科
消化器外科 31(12):1763-1772, 2008	手術の王道ト消化管の手術 胃・十二指腸 幽門側胃切除術	中根 恭司	外科
消化器外科 31(11):1709-1715, 2008	広範な肝右葉被膜下膿瘍を呈した急性胆嚢炎の1例	海堀 昌樹	外科
消化器内視鏡 20(3):379-384,2008	胸部食道癌根治切除後、ESDにて切除し得た残存頸部食道表在癌の2例	金 成泰	外科
日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会誌 24(2):41-44,2008	便失禁への対応策-外科医から見た対策-	吉岡 和彦	外科
日本消化器外科学会雑誌 41(8):1655-1660, 2008	エホバの証人患者における転移性肝癌切除の1例	海堀 昌樹	外科
日本臨床 66(増刊5胃癌):586-590,2008	【胃癌 基礎・臨床研究のアップデート】再発・転移 腹膜播種 早期発見法 Second look laparoscopy	井上 健太郎	外科
日本臨床 66(増刊5胃癌):355-359,2008	【胃癌 基礎・臨床研究のアップデート】治療 現状・動向・評価 各論:胃癌治療法 現状・動向・評価 外科的治療法 最近の知見、評価、動向 縮小手術	中根 恭司	外科
日本臨床外科学会雑誌 69(6):1465-1469, 2008	肝膿瘍に続発した細菌性眼内炎・腸腰筋膿瘍・脛骨骨髓炎の1例	中根 恭司	外科
看護に役立つ疾患・症候事典 424-427,2008	消化管間質腫瘍	中根 恭司	外科

(注)1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
消化器癌の外科治療 69-71,2008	1消化管 こんなときどうするQ&A 8胃全摘術後の再建 胃全摘後の再建法の種類と、それぞれの長所、短所について教えてください	中根 恭司	外科
Am J Surg in press,2008	Risk factors and outcome of early recurrence after resection of small hepatocellular.	Kaibori M	外科
Journal of Clinical Oncology 26(155)(May20Supplement),2008:20615	Novel & effective management of capecitabine induced Hand Foot Syndrome.	Yamamoto D	外科
Hepatogastroenterology in press ,2008	Pre-operative patient selection of pancreatic cancer patients by multi-detector row CT and surgical results.	Satoi S	外科
Pancreas in press,2008	Surgical results following pre-operative chemoradiation therapy for patients with pancreatic cancer.	Satoi S	外科
Circulation journal 72(8):1351-1358, 2008	Granulocyte-colony stimulating factor increases donor mesenchymal stem cells in bone marrow and their mobilization into peripheral circulation but does not repair dystrophic heart after bone marrow transplantation.	Tatsumi K	胸部心臓血管外科
General thoracic and cardiovascular surgery 56(3):114-118, 2008	Preoperative steroid therapy stabilizes postoperative respiratory conditions in myasthenia gravis.	Kaneda H	胸部心臓血管外科
Journal of Bronchology 15(2):71-72,2008	Safety of topical lidocaine application during flexible bronchoscopy	Saito Y	胸部心臓血管外科
日本血管外科学会雑誌 17(3):439-445,2008	90歳以上の高齢者の大動脈緊急症例の検討	中尾 佳永	胸部心臓血管外科
日本血管外科学会雑誌 22(2):146-150,2008	肺切除術後胸腔ドレーン管理に関する臨床実践の検討	金田 浩由紀	胸部心臓血管外科
BRAIN and NERVE: 神経研究の進歩 60(2):123-129,2008	【がん治療と神経障害】放射線照射による脳障害	浅井 昭雄	脳神経外科
Neuro-Oncologyの 進歩 17(1):31-32,2008	chordoid meningiomaの一例	大重 英行	脳神経外科
Progress in Medicine 28(5):1330-1332, 2008	シロスタゾール(プレタール)投与中に症候性頭蓋内動脈狭窄の狭窄率の改善を認めた2例	吉村 晋一	脳神経外科
小児の脳神経 33(1):72-73,2008	【二分脊椎の発生病態と予防および総合医療】異常肥厚終糸の組織学的検討	稲垣 隆介	脳神経外科
新薬と臨床 57(7):1140-1148, 2008	脳梗塞慢性期の抗血小板療法-当院におけるクロピドグレル(プラビックス)の使用経験-	吉村 晋一	脳神経外科
Japanese Journal of Endourology and ESWL 21(2):110-116,2008	腹腔鏡下膀胱摘除術 Laparoscopic Partial Cystectomy	木下 秀文	泌尿器科

(注)1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原簿論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本泌尿器科学会雑誌 99(5):645-651,2008	健康中年男性におけるテストステロンとADAMおよびAMS質問紙の妥当性に関する検討	河 源	泌尿器科
泌尿器科紀要 57(5):373-376,2008	ホルモン療法中にNeuroendocrine differentiationをきたし脳幹、眼窩、舌根部に転移を認めた前立腺癌の1例	杉 素彦	泌尿器科
泌尿器科紀要 54(12):791-793,2008	トルコ鞍空洞症に伴った後天性ゴナドトロピン性 性腺機能低下症の1例	谷口 久哲	泌尿器科
American journal of ophthalmology 145(4):676-681,2008	Intraocular Pressure Elevation after Injection of Triamcinolone Acetonide: A Multicenter Retrospective Case-Control Study.	Matsumura M	眼科
Clinical and experimental immunology 154(2):285-293,2008	High mortality rate of (NZW x BXSB)F1 mice induced by administration of lipopolysaccharide attributes to high production of tumour necrosis factor-alpha by increased numbers of dendritic cells.	Matsumura M	眼科
Graefe's archive for clinical and experimental ophthalmology 246(7):1065-1067,2008	Case of retinochoroiditis associated with porcine ascarids diagnosed by antibodies in Subretinal fluid.	Takahashi K	眼科
Japanese journal of ophthalmology 52(6):508-510,2008	Early-onset endophthalmitis caused by methicillin-resistant Staphylococcus epidermidis after 25-gauge transconjunctival sutureless vitrectomy.	Taomoto M	眼科
Japanese journal of ophthalmology 52(4):265-268,2008	Posterior sub-Tenon injection of triamcinolone acetonide as pretreatment for focal laser photocoagulation in diabetic macular edema patients.	Matsumura M	眼科
Journal of ocular pharmacology and therapeutics 24(6):607-612,2008	Severe Optic Neuropathy Caused by Dichloromethane Inhalation.	Matsumura M	眼科
Molecular vision 14(5):992-996,2008	Relationship between pigment epithelium-derived factor (PEDF) and renal function in patients with diabetic retinopathy.	Matsumura M	眼科
Molecular vision 14(2):249-254,2008	Hypericin inhibits pathological retinal neovascularization in a mouse model of oxygen-induced retinopathy.	Higuchi A	眼科
Ophthalmic research 41(1):53-58,2008	Indocyanine Green Angiography in Experimental Choroidal Circulatory Disturbance.	Nishikawa M	眼科
Ophthalmology 115(11):1916-1922, 2008	Role of Soluble Vascular Endothelial Growth Factor Receptor-1 in the Vitreous in Proliferative Diabetic Retinopathy.	Matsumura M	眼科
眼科臨床紀要 1(1):13-17,2008	眼内レンズ縫着術後に駆出性出血を生じた2症例	桑田 満喜	眼科
日本眼科学会雑誌 112(7):590-600,2008	脈絡膜新生血管を伴う加齢黄斑変性を対象としたベガブタニブ ナトリウム1年間投与試験	高橋 寛二	眼科
日本眼科学会雑誌 112(7):1076-1084,2008	加齢黄斑変性の分類と診断基準	高橋 寛二	眼科

(注)1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原簿論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なるものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
PEPARS (21):70-77,2008	【皮膚腫瘍 外来治療のコツ】黄色腫、汗管腫	楠本 健司	形成外科
形成外科 51(増刊):S223-228, 2008	【外科系医師のための『創傷外科』update】創傷外科各論 特殊な原因による創傷 医源性創傷	楠本 健司	形成外科
形成外科 51(7):745-754,2008	【耳介変形の治療update】耳介変形の分類と治療	楠本 健司	形成外科
形成外科 51(5):583-588,2008	糖尿病性足壊疽に対するmaggot debridement therapy(MDT)の1例	大西 早百合	形成外科
日本褥瘡学会誌 10(4):556-560,2008	仙骨部褥瘡に対する手術後ドレッシング、体位変換に関する工夫	三宅 ヨシカズ	形成外科
Hearing research 240(1-2):52-56,2008	Response of the flat cochlear epithelium to forced expression of Atoh1.	Izumikawa M	耳鼻咽喉科
Inflammatory bowel diseases 14(6):826-838,2008	Subcutaneous adipose tissue-derived stem cells facilitate colonic mucosal recovery from 2,4,6-trinitrobenzene sulfonic acid (TNBS)-induced colitis in rats.	Omae M	耳鼻咽喉科
Stem cells and development 17(2):291-302, 2008	Long-term maintenance of donor-derived hematopoiesis by intra-bone marrow-bone marrow transplantation.	Omae M	耳鼻咽喉科
Transplantation 85(1):93-101,2008	Long-Term Donor-Specific Tolerance in Rat Cardiac Allografts by Intrabone Marrow Injection of Donor Bone Marrow Cells	Omae M	耳鼻咽喉科
The journal of gene medicine 10(6):610-618,2008	Gene transfer into guinea pig cochlea using adeno-associated virus vectors	Konishi M	耳鼻咽喉科
JOHNS 24(2):173-177,2008	内視鏡下鼻副鼻腔手術のための支援機器 ナビゲーションシステム	友田 幸一	耳鼻咽喉科
口腔・咽頭科 20(2):237-243,2008	耳下腺腫瘍:困ったときの対応 耳下腺腫瘍の局在が浅葉か深葉か術前に判定困難な場合	永田 基樹	耳鼻咽喉科
喉頭 20(2):133-137,2008	声門閉鎖不全に対する声帯内ヒアルロン酸注入術の治療経験	宮本 真	耳鼻咽喉科
耳鼻展望 51(5 別冊):94-98, 2008	金沢医科大学耳鼻咽喉科におけるナビゲーション手術の実態	友田 幸一	耳鼻咽喉科
耳鼻展望 51(5 別冊):100-106, 2008	耳鼻咽喉科ナビゲーション手術の現状-2003年、2007年全国アンケート調査結果報告-	友田 幸一	耳鼻咽喉科
通信医学 60(5):287-289,2008	ナビゲーションシステムが有効であった前頭洞炎に対する鼻内内視鏡手術の一例	友田 幸一	耳鼻咽喉科

(注)1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なるものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
頭頸部外科 18(2):109-113,2008	副鼻腔嚢胞性疾患手術-鼻外法-	友田 幸一	耳鼻咽喉科
頭頸部癌 34(4):544-547,2008	進行下咽頭癌における術前化学放射線療法に対する病理学的効果の検討	井上 俊哉	耳鼻咽喉科
頭頸部癌 34(3):355-359,2008	耳下腺多形腺腫手術とその問題点	永田 基樹	耳鼻咽喉科
頭頸部自律神経 22:47-48,2008	AAVによる内耳遺伝子導入の試み	小西 将矢	耳鼻咽喉科
日本コンピュータ外科学会 10(1):53-67,2008	手術ナビゲーションでの臨床での使用実態に関するアンケート調査結果報告(2)	友田 幸一	耳鼻咽喉科
日本耳鼻咽喉科学会会報 111(12):727-733, 2008	内耳疾患の治療をめざして-基礎研究の最前線-遺伝子導入法(蝸牛有毛細胞の再生と聴覚の回復)-	泉川 雅彦	耳鼻咽喉科
日本鼻科学会誌 47(1):43-45,2008	胆管用Tチューブを使用した内視鏡下鼻内DCR法の検討	友田 幸一	耳鼻咽喉科
産業システム情報化研究会 5-11,2008	仮想の「鏡」による内視鏡下鼻内手術の遠隔手技指導システム	友田 幸一	耳鼻咽喉科
Abdominal imaging 33(5):560-562,2008	Traumatic neuroma of the bile duct.	Ueno Y	放射線科
Acta radiologica 49(6):638-643,2008	Improvement in respiratory function by percutaneous vertebroplasty.	Tanigawa N	放射線科
核医学症例検討会症例集 29(1):1-2,2008	18F-FDG-PETが、初期診断と効果判定に有用であった脾原発悪性リンパ腫の1例	河 相吉	放射線科
核医学症例検討会症例集 28(2):36-37,2008	99mTc-HSAD肝プールシンチグラフィにて肝血管腫の所見を呈した肝異物肉芽腫の1例	河 相吉	放射線科
日本放射線技術学会近畿部会雑誌 14(2):13-18,2008	IVRIにおけるAngio/CT装置の仕様改善	森 薫	放射線科
臨床放射線 53(12):1723-1729, 2008	18F-FDG脾集積の画像所見と臨床的意義	河 相吉	放射線科
臨床放射線 53(12):1717-1722, 2008	大腸癌、卵巣癌腹膜転移の治療選択におけるFDG-PET/CTの有用性	上埜 泰寛	放射線科
HORMONE FRONTIER IN GYNECOLOGY 15(2):165-168,2008	ホルモンQ&A プロゲステンの世代分類と臨床的意義について教えてください	神崎 秀陽	産婦人科

(注)1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原簿論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
エンドメトリオージス 研究会会誌 29:130-132,2008	子宮筋症術後に妊娠し、帝王切開時に胎盤剥離困難となり 子宮全摘に至った1例	奥野 茜子	産婦人科
産婦人科の実際 57(7):1065-1070, 2008	【産科婦人科サブスペシャリティ領域の動向】生殖医療 日本 受精着床学会	神崎 秀陽	産婦人科
産婦人科の実際 57(2):163-168, 2008	【子宮内膜の機能と生殖医療 その最前線】プロゲステロンに よる子宮内膜分化に関する話題	岡田 英孝	産婦人科
産婦人科の進歩 60(4):335-336,2008	生殖医療と先天異常について	岡田 英孝	産婦人科
産婦人科の進歩 60(2):162,2008	EXIT(Ex Utero Intrapartum Treatment)について	依岡 寛和	産婦人科
日本小児放射線学 会雑誌 24(1):11-17,2008	【勃興しつつある新たな画像診断】胎児MRIによる出生前診断	依岡 寛和	産婦人科
臨床婦人科産科 62(4):469-473,2008	産婦人科臨床の難題を解く-私はこうしている II 不妊治療【一般 不妊治療 6】薄い子宮内膜を發育させるには?	岡田 英孝	産婦人科
Antioxidants & Redox Signaling 10(5):983-996,2008	LPS induces hypoxia-inducible factor 1 activation in macrophage-differentiated cells in a reactive oxygen species- dependent manner	Nishi K	麻酔科
Journal of Anesthesia 22(1):52-54,2008	An unusual case of airway obstruction at the tip of an endotracheal tube caused by insertion of a nasogastric tube.	Kubo K	麻酔科
Paediatric Anaesthesia 18(10):991-992,2008	Emergency airway management of an extremely low-birth- weight infant with subglottic stenosis.	Umegaki T	麻酔科
蘇生 27(1):1-6,2008	急性脳虚血における脳白質保護の重要性	中尾 慎一	麻酔科
麻酔 57(1):82-84,2008	エアウェイスコープにブジーを併用し気管挿管が可能であった 症例	上嶋 浩順	麻酔科
APMIS : acta pathologica, microbiologica, et immunologica Scandinavica 116(11):1013-1015,2008	Carcinosarcoma arising in mixed epithelial and stromal tumor of the kidney.	Sakaida N	臨床検査医学科
臨床病理 56(5):379-382,2008	検査室での異常フィブリノゲン症診断における単純免疫拡散法 の有用性	吉賀 正亨	臨床検査医学科
Pediatrics international 50(4):464-468,2008	Estimation of measles vaccine coverage needed to prevent transmission in schools.	Mori N	小児科
日本小児泌尿器科 学会雑誌 16(2):136-140,2008	乳幼児にやさしい腎機能検査:シスタチンCによる糸球体濾過率 予測と試験紙による一日尿蛋白量予測	金子 一成	小児科

(注)1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に
発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する
医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
外来小児科学会誌 11(2):206-209,2008	上顎洞エコーを用いた急性副鼻腔炎の診断	小島 崇嗣	小児科
Journal of neurosurgery. Spine 9(6):554-559,2008	Microsurgical bilateral decompression via a unilateral approach for lumbar spinal canal stenosis including degenerative spondylolisthesis.	Sasai K	整形外科
Rheumatology 47(5):591-596,2008	Prevention of corticosteroid-induced osteonecrosis in rabbits by intra-bone marrow injection of autologous bone marrow cells.	Asada T	整形外科
Hip Joint 34:342-346,2008	髄外ガイドを用いたステム設置の評価	加藤 充孝	整形外科
The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine 45(5):275-277,2008	DPC導入と(急性期)リハビリテーション医療 アメリカの現状,将来 の日本	吉田 清和	整形外科
中部日本整形外科 災害外科学会雑誌 51(5):879-880,2008	膝関節内骨髄移植方法を用いた前十字靭帯不全損傷に対する 次世代靭帯修復方法の可能性	おおえ 賢一	整形外科
中部日本整形外科 災害外科学会雑誌 51(4):723-724,2008	股関節における関節唇損傷の造影MRIについて	加藤 充孝	整形外科
日臨救急医学会誌 11(6):480-485,2008	重篤な水様性下痢にて救急外来を受診した腓VIP産生腫瘍の1 例	鈴木 聡史	救急医学科
日本臨床救急医学 会雑誌 11(6):475-479,2008	鈍的腹部外傷後の遅発性小腸狭窄の1例	富野 敦稔	救急医学科
Pathophysiology of haemostasis and thrombosis 36(2):98-101,2008	Therapeutic efficacy of leukocytapheresis for procoagulant microparticles during hemophagocytic syndrome.	Asai T	救急医学科
Arterial Stiffness/動 脈壁の硬化と老化 (14):55-57,2008	運動療法にてbaPWVが改善した例 PWV、内膜・中膜肥厚度の 変化による検討	木村 穰	循環器腎内分泌内科
Function Food 2(3):288-294,2008	【スポーツと機能性食品】生活習慣病予防のための運動に対す る栄養学的配慮	田嶋 佐和子	循環器腎内分泌内科
Acta cardiologica 63(5):603-608,2008	New index of regional arterial stiffness assessed by tissue Doppler imaging.	Haiden M	循環器腎内分泌内科
The American journal of cardiology 102(5):568-572,2008	Changing trends of hospital utilization in patients after their first episode of atrial fibrillation.	Miyasaka Y	循環器腎内分泌内科
Annals of nuclear medicine 22(4):309-316,2008	Non-invasive detection of ischemic left ventricular dysfunction using rest gated SPECT: expectation of simultaneous evaluation of both myocardial perfusion	Maeba H	循環器腎内分泌内科
Estratto da CHIRURGIA 21(6):339-342,2008	Surgical treatment for right sided infective endocarditis with recurrent pulmonary infarction concurrent with a ventricular septal defect	Hattori R	循環器腎内分泌内科

(注)1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に
発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する
医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 今村 洋二
管理担当者氏名	薬剤部長 廣田 育彦、看護部長 安田 照美、 事務部長 竹林 俊雄

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、 手術記録、看護記録、検査所見記録、 エックス線写真、紹介状、退院した患 者に係る入院期間中の診療経過の要約 及び入院診療計画書		管理課、各診療科、 薬剤部、手術部、 各病棟、臨床検査部、 放射線部、病歴情報課、 地域医療連携部、	保管部署で管理
病院の管理 及び運営に 関する諸記 録	従業者数を明らかにする帳簿	管理課	
	高度の医療の提供の実績	各診療科	
	高度の医療技術の開発及び 評価の実績	各診療科	
	高度の医療の研修の実績	各診療科	
	閲覧実績	病歴情報課	
	紹介患者に対する医療提供の実 績	地域医療連携部	
	入院患者数、外来患者及び 調剤 の数を明らかにする帳簿	医事課、薬剤部	
確規 保則 の第 9 状 況 条 の 2 3 及 び 第 1 1 条 各 号 に 掲 げ る 体 制	専任の医療に係る安全管 理を行う者の配置状況	有 (3名)	
	専任の院内感染対策を行 う者の配置状況	有 (1名)	
	医療に係る安全管理を行 う部門の設置状況	有	
	当該病院内に患者からの 安全管理に係る相談に適切 に応じる体制の確保状況	有 (5名)	
	医療に係る安全管理のた めの指針の整備状況	有	
	医療に係る安全管理のた めの委員会の開催状況 (平成20年度)	12回	
	医療に係る安全管理のた めの職員研修の実施状況 (平成20年度)	17回	
	医療機関内における事故 報告等の医療に係る安全の 確保を目的とした改善のた めの方策の状況	有	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第1条の11各号に掲げる体制確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	有
		院内感染対策のための委員会の開催状況	12回
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	26回
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	有
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	7回
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	有
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	有
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	35回
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	有
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	有		

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	医療情報部部长 今村 洋二 (病院長)
閲覧担当者氏名	医事課長 前田 利治 医療情報部病歴情報課 北村 臣
閲覧の求めに応じる場所	1階 情報ライブラリー室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延 0 件
閲覧者別	医 師	延 0 件
	歯 科 医 師	延 0 件
	国	延 0 件
	地方公共団体	延 0 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	71.2 %	算定期間	平成20年 4月 1日 ~ 平成21年 3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数		20,457 人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		9,933 人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		1,274 人
	D: 初診の患者の数		34,550 人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第13-2)

規則第9条の23及び第11条各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (3名) ・ 無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (1名) ・ 無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none">所属職員： 専任 (3) 名 兼任 (12) 名活動の主な内容： 組織横断的に当該院内の安全管理を担う部門であり、院内の診療体制、臨床研修医等の管理体制、薬剤管理、看護管理の徹底化さらに、医療機器などの保守点検及び適正使用、院内技術研修体制の充実、医療事故再発防止の確立を行う事で患者に安全な医療を提供する。 医療に関わる安全の為の指針の策定及び変更、組織機能の安全に関する検討を行う。	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有 ・ 無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none">指針の主な内容： 「医療に係る安全管理のための指針」参照	

⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況（平成20年度）

原則毎月1回定例開催

・ 活動の主な内容：

(1) 医療安全管理対策委員会：原則毎月1回定例開催

医療事故を未然に防止すると共に、迅速かつ適切な対策を講ずるため、インシデントレポートの分析検討、マニュアルの整備、マンスリーレポートの発行、セーフティーマネージャー会との連携などを通じて安全管理の徹底化を促進する。

(2) 医療事故対応委員会：必要の都度開催

インシデントレベル3bで病院長、医療安全管理部長と専任医療安全管理者が合議し、医療過誤が原因である、またはその可能性が否定できない事例とレベル4a以上の案件は、病院長が委員会の開催を指示し、事故対策方針、事故原因の分析、患者・遺族との交渉、関係職員の制裁などについて審議対応する。

(3) セーフティーマネージャー会：原則毎月1回定例開催

医療機関の安全体制の確保及び推進の為に各委員会の管理及び運営に関する規定を定め、安全管理の為に事象の発生原因を分析し、改善策の立案及び実施、職員への周知を図る。更に実施された改善策の実施状況の調査、見直しを行う。

(4) 感染対策委員会：原則毎月1回定例開催

病院内におけるMRSA、その他の院内感染を積極的に防止し、院内感染管理の万全を期するため、その予防のための調査、研究、院内感染症発生時の対策などの方策と実践を行う。当委員会のマニュアルに次の項目が示されている。

MRSA感染防止対策、手洗い(手指消毒)方法、消毒剤使用法、B型肝炎感染予防対策、C型肝炎感染予防対策、針刺し後のHIV感染防止対策、結核感染予防対策など。

(5) 看護部感染防止リンクナース会：原則2ヵ月に1回開催

感染対策委員会の下部組織として病棟、外来より委員を選出し発足。ICTの指導を受けながら、感染防止にかかわる調査、研究、教育活動を行い、有効かつ低コストの感染防止対策を実践し、院内感染の減少を図る。

(6) 輸血療法委員会：原則毎月1回定例開催

院内における輸血に関し、輸血療法を安全かつ適切に行い、輸血に伴う事故や副作用、感染及び合併症の対策について審議する。

(7) 医療ガス安全管理委員会：原則年1回定例開催

医療ガス設備の安全管理を図り、患者さまの安全を確保するために保守点検指針に基づいて、実施責任者に医療ガスの保守点検業務を行わせ安全の確認を行い、各部門に医療ガスに関する知識を普及し啓発に努める。

(8) 安全衛生委員会：原則毎月1回定例開催

職員の危険防止及び健康障害を防止するための基本的な対策を立て、労働災害の原因や再発防止に努め、職員の健康増進を図るための基本的な対策を立てる。

(9) 看護部安全対策委員会：原則毎月1回定例開催

看護部内において委員会を組織し、看護部内における安全及び危機管理に関することなどを検討し、病棟・外来の安全巡回、安全対策学習、医療事故の集計や分析を行う。

(10) 放射線安全管理小委員会：原則年4回開催

業務従事者の教育訓練、施設の改廃、新設、維持管理、放射線の測定、記録の分担、大学の予防委員会等の調査の立会い、科学技術庁又はその指定検査機関による施設検査、定期検査などに際しての対応を行う。

(11) NST・褥瘡対策委員会：原則毎月1回定例開催

栄養障害の早期発見と治療により、現疾患の重症化を抑制することで、患者満足度や医療の質の向上を図る。また、褥瘡の発生予防及び発症後早期からの適切な処置と対策を講じるため、入院患者に褥瘡に関する評価を行い、必要な対策を実施する。

(12) クリニカルパス委員会：必要の都度開催

クリニカルパスの作成と改訂を通じて医療の効率と質の向上を図り、患者の満足と資源の効率的活用を目指す。

(13) 看護部安全対策リンクナース会：原則年6回定例開催

看護部安全対策委員会の下部組織として、各部所のインシデント分析や病棟・外来の安全巡回、安全対策に関する学習を行い、安全に関する知識の普及、医療事故防止を図る。

(14) 看護部セーフティマネージャー会：原則毎月1回定例開催

セーフティマネージャー会の分科会として、各部所のインシデント分析や安全巡回などを行い、医療事故防止についての教育や安全管理対策の推進を図る。

⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況（平成20年度）

年17回

研修の主な内容：

別紙参照

⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備 （・無）電子化 [第一、二報方式]
 1. 電子化入力運用を行っており、第一報は全職員、第二報通知は、セーフティーマネージャーがそれぞれ入力を行っている。
 2. 事故報告等の目的は、「個人を罰する事ではなく事故の再発防止に活用することである」と定めている。
 3. 報告すべき事項は、療養指導から院内給食に関するものまで29項目である。
 4. 報告先は、セーフティーマネージャー、所属部門の部長を経て、医療安全管理部、病院長である。緊急を要する場合は、直接病院長へ報告し指示を受けて対処する。
 5. 医療安全管理部は、報告を受けて速やかに内容を把握し、当該のセーフティーマネージャーと分析し、対策を講じる。

・その他の改善のための方策の主な内容：

<安全教育>

1. セーフティーマネージャー会での事例検討、報告
2. 職員研修のDVD上映会開催
3. 技術教育
(中心静脈穿刺について、刺股警戒杖の取扱い)
4. 中途入職者への医療安全に関するオリエンテーション
5. セーフティーマネージャー会への研修医の出席

<情報システムの活用>

1. 医療安全管理対策委員会より、「マンスリー報告」発行（月1回）
2. 医療安全管理部より、「医療安全情報」の発行（事例により発行）
3. 医療安全管理部より、「医療安全ほっとメール」の発行（事例により発行）
4. 電子カルテ上にホームページの開設

<安全巡廻による評価>

1. 改善策に係わる実施状況の評価
2. 学内3病院における相互ラウンド
3. 近畿私立大学病院相互ラウンド

<改善の為にの取り組み>

1. 医療安全管理マニュアル、ポケットマニュアルを一部改訂した。
2. アレルギーチェック機能を一部改正した。
3. 内服指示表の運用の整備をした。

以 上

医療に係る安全管理 のための指針

※変更点に下線

医療安全管理に関する基本的な考え方

医療事故が起これば、最も迷惑と被害を受けるのは患者さまです。特定機能病院、二次医療圏における基幹病院として、本院は患者さまから信頼される医療安全管理体制を確立する責務があります。医療行為を行うのは最終的には人間であり、人間は誤りを犯すという前提に立てば、医療事故は必ず起こると考えざるを得ません。人の命と健康とをあずかる医療従事者一人ひとりが「人間は誤りを犯すものである」、「医療事故は必ず起こるものである」との「危機意識」を持ち、患者優先の医療を徹底することが私どもの倫理です。病院全体が組織として、医療事故についての調査分析を行い、具体的対策を立てて、これを職員に教育啓発し、実行することによって、医療事故を未然に防ぎ、患者さまにより良い、より安全な医療が提供できるよう最大の努力を傾注します。さらに、診療に関する諸記録の正確かつ真実な記載を推進し、医療情報の安全管理を徹底します。

医療安全管理のための組織づくりや、事故等の速やかな病院長への院内報告制度の強化、患者さまの医療内容についての苦情相談窓口の充実、カルテ開示など医療情報の適正化、職員への定期的研修会の開催等はそのための施策です。

「あたりまえのことをきちんとする」を基本理念として、患者さまに安心と安全を約束できる病院とするために、ここに医療安全管理マニュアルを定め、これを病院長が率先して推進します。

序 文

医療の安全性の向上と信頼性の確保のために

国民の医療に対する信頼が大きく揺らいでおり、医療における安全性の向上と信頼性の回復が何よりも急務であります。現在の医療は多くの医療従事者が関与せざるを得ないシステムとなっているため、医療事故防止については、個人としての防止努力にはおのずから限界があり、組織全体として事故発生防止システムの構築が大切であります。事故は特定の不注意な個人にのみ起こるものではなく、一定の確率ですべての人間に起こるとされています。勿論、ミスやエラーの中には、医療従事者の経験や知識不足による事故も多く、この点は謙虚に反省し、医療従事者個人が知識の研鑽に努め、日進月歩の医療水準に追いついていく努力が必要であります。医療機器の改良や作業手順の改善による事故防止対策も重要でありましょう。また、万一ミスやエラーが発生しても、それが直接医療事故に結びつかないようにするシステムの構築も重要であります。さらに、不可抗力による医療事故に関しては、中立的第三者の創設に向けたモデル事業も行われ始め注目されています。これからも、われわれは、医療の透明性を確保し、大学病院としての社会的責務をはたしてゆくことが、極めて重要です。

従来から、関西医科大学附属枚方病院では、医療安全管理マニュアルに基づき、リスクの把握、評価、背景因子の分析、対処、そして再評価と公表が、医療安全対策委員会でなされてきました。医療安全対策は、病院の危機管理につながり、事故発生防止による患者の安全確保と事故の適切な処理による病院の損失軽減にもつながります。この医療安全管理マニュアルが関西医科大学附属枚方病院での医療事故防止に役立ち、より安全で信頼の高い医療に結びついていくことを祈念いたします。

平成18年1月

病院長 今村 洋二

医療におけるセーフティーマネージメント

1) 医療安全管理のための基本方針

医療現場での安全管理は、人の命と健康をあずかる医療従事者一人ひとりが「人は誤りを犯す」という事を前提として危機意識を持ち、個人及びシステムエラーのチェック機能を強化していくことが重要である。医療事故防止には、エラーを誘発しない環境や、起こったエラーについての調査を行い、これを分析し、事故防止の具体策を立て、これを職員全員が行うことにより、事故を未然に防ぎ、患者により良い安全な医療が提供できるよう最大の努力を傾注する。

附属枚方病院の理念は院内に掲示し、職員がその実現を期して努力することの誓いとする。

病院理念 慈仁を心の鏡とした、安全であたたかい医療を提供します。

2) 医療安全管理のための委員会その他の組織に関する規程

本院における安全管理に関する基本方針に基づき病院長は医療に係る安全管理体制を確保するため、次の委員会等を設置する。

(医療安全管理対策委員会)

医療安全管理に関する全体の統括を行い、医療事故防止対策の検討と実行を行う。

(医療安全管理部)

医療安全管理対策委員会の決定事項に基づき、組織横断的な安全管理を担当する。

(セーフティーマネージャー委員会)

医療安全管理部と連携して、インシデント事例の把握と改善策を検討し、それらを職員に周知徹底する。

(医療事故対応委員会)

医療にかかる事故が発生した場合に医療事故対応方針等を緊急に審議し、迅速に対応し処理することを目的とする。

(医療事故調査委員会)

事故の原因として職員の過誤が明らかであり、それにより患者が後遺障害をきたすもしくは死亡した場合には、当該事故の実情を調査する。

(医療の質管理委員会)

患者中心の医療を行うために診療活動における質の向上と医療の安全を高めることを目的とする。

3) 医療に係る安全管理のための職員研修に関する基本方針

医療安全管理部が中心となり、医療に係る安全管理のための基本的考え方及び具体的方策について職員に周知徹底を行う。

個々の職員に安全に対する意識、安全に業務を遂行するための技能やチームの一員としての意識の向上を図る。

- (1) 職種に対応した安全管理対策教育プログラムを作成し、講習会を2回以上実施する。
- (2) 新入職員に対する安全管理対策教育プログラムを作成し、新入職オリエンテーション、臨床研修医ワークショップを実施する。
- (3) 医学部や看護学校での安全対策教育を行い、これと連携する。

4) 医療事故報告等の医療に係わる安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針

(1)インシデントは迅速な報告を求めるとともに、インシデントの原因分析は、当事者の責任を追及するのではなく、「何が問題であるか」「なぜおきたのか」に視点を置いた改善策を立て、医療の質の向上に努める。

(2)インシデントレポートは現場で直接に関わった者（当事者）、発見者、または、直属上司あるいは、セーフティマネージャー（安全対策委員）が入力する。

(3)その他、インシデントレポートの詳細については、医療安全管理マニュアル 部門・部所共通集の「インシデントレポート」に定める。

5) 医療事故発生時の対応に関する基本方針

医療事故の発生を防止するため、医療安全管理対応委員会規程のもとに、各種医療行為のマニュアルによって事故発生防止に努めているが、事故発生の場合には、以下の基本方針に基づいて対処する。

- (1)患者に影響を及ぼす事故にあつては、附属枚方病院の全医療能力を投入して治療にあたる。
- (2)患者及び家族への説明は、診療部長または診療部長の指名した者がこれに当たる。
- (3)事故発生前後の記録は、患者治療の方針に重要であり、時刻、医薬品及び医療行為などを正確に診療録に記載する。
- (4)職員は、重大な事故の発生時には、速やかに病院長（管理者）に報告する。
- (5)その他、医療事故発生時の対応については、医療安全管理マニュアル 部門・部所共通集の「医療事故発生時の対応」に基づいて対応する。

6) 医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針
(患者等に対する当指針の閲覧に関する基本方針を含む)

医療の安全意識を高めるために、医療に対する患者の意見を聴くことが必要である。
そのため患者等より医療安全管理マニュアルの閲覧を求められた時は呈示する。

また、医療安全管理に関する基本指針は本院のホームページ等に公開し、閲覧できることとする。

7) 患者からの相談への対応に関する基本方針

患者からの相談については、病院に患者相談窓口を設置し、迅速かつ誠実に対応する。また、相談者が不利益を受けないように適切な配慮をする。

8) その他医療安全の推進のための必要な基本方針

「医療安全」は「医療の質」そのものであることを職員に共通する認識とし、積極的に主体的な取り組みを図る。

「医療安全管理マニュアル」は安全管理の原点であり、継続してその内容を見直す。職員は報告された医療事故の分析結果をもとに、「医療安全管理マニュアル」を改訂していくことが医療事故防止への積極的な姿勢と成熟度を高めるものと認識する。

**医療安全管理研修
実施状況**

医療安全管理研修実施状況（平成20年度実績）

開催年月日	研 修 会 名	参加者数	備 考
平成20年5月22日	刺股、警戒杖、護身術講習会	52	
6月3日	患者さまを癒す身だしなみ教室	181	安全部共催
6月12日	枚方3病院ワークショップ 持参薬管理、内服薬管理	31	
6月26日	クリニカルパス大会 胃手術パス	92	安全部共催
7月4日	教育委員会講演会 医療人におけるプロフェッショナリズム	68	安全部共催
7月10日	医療安全講演会 医療事故・医療紛争	203	
7月29日	臨床検査セミナー 臨床検査に係るインシデント事例など	87	安全部共催
9月9日	枚方3病院ワークショップ（DVD上映） 持参薬管理、内服薬管理	135	
9月12日	教育講演会 緩和医療セミナー	130	安全部共催
10月30日	暴言・暴力対応セミナー	81	
11月6日	クリニカルパス大会 気管支鏡パス、レミケード治療パス	107	安全部共催
11月27日 17:30～19:10	大阪地裁説明会 医療訴訟ガイダンス	240	
11月28日 17:30～19:00	医療安全大会 アレルギーチェックシステム改善など	227	
12月15日 17:30～19:00	第5回 臨床検査セミナー 糖尿病治療の最前線、インフルエンザ総合対策	100	安全部共催
平成21年2月5日 16:00～17:00	医療安全講演会 暴言暴力対応セミナー	81	
2月6日 17:30～19:00	クリニカルパス大会 小児心臓カテーテル検査パスなど	84	安全部共催
2月9日	医療安全大会（DVD上映） アレルギーチェックシステム改善など	132	
計		2031	

医療安全管理研修実施状況（平成21年度実績・予定）

	開催年月日	研 修 会 名	参加者数	備 考
実 績	平成21年5月22日	刺股、警戒杖、護身術講習会	49	
	6月4日	医療安全講演会 5S活動とQCサークル活動 矢野真先生	310	
	6月11日	枚方3病院ワークショップ 虐待について	30	
	6月12日	災害医療講演会 変わってきた災害時医療 内藤万砂文先生	168	安全部共催
	6月22日	臨床検査セミナー 亜鉛の有用性、グラム染色の方法とその見方	166	安全部共催
	6月25日	医療安全講演会 (DVD上映会)	215	
	7月3日	医療安全講演会 (DVD上映会)	182	
	7月6日	クリニカルパス大会 地域連携パス	120	安全部共催
	7月13日	枚方3病院ワークショップ (DVD上映会)	158	
	7月23日	医療安全講演会 医療事故調査委員会報告会	188	
	8月20日	医療安全講演会 (DVD上映会)	151	
		職場単位でのDVD研修会 (4月～8月までの開催分)	98	
	予 定	11月	大阪地裁説明会 医療訴訟ガイダンス	
11月26日		クリニカルパス大会 乳腺外科、リウマチ膠原病内科		安全部共催
11月27日		医療安全大会		
		医療安全大会 (DVD上映会)		
2月		医療安全講演会		
		医療安全講演会 (DVD上映会)		

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有 無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>別紙「病院感染対策指針」参照</p>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新型インフルエンザマニュアルの作成と周知 ・ MRSA の検出状況の把握 ・ 針刺し事故の発生状況と事故防止対策の検討 ・ 病院感染発生時の対応、対策 ・ 抗菌薬の使用状況調査と感受性の推移調査 ・ 研修会セミナーの開催 ・ 発熱外来の開設準備と運営 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 26 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>別紙「院内感染防止対策研修実施状況」参照</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有) ・ 無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 集中治療部門の環境清掃の徹底 ・ 清掃時の手指衛生の徹底 	

病院感染対策指針

病院感染対策指針

感染対策委員会

I 病院感染対策に関する基本的な考え

関西医大附属枚方病院は高度先進医療を担う特定機能病院であり、さまざまな感染症の診療も行われていることから、そこで治療を受けている患者様は、常に感染の脅威にさらされている。病院の理念である「慈仁を心の鏡とした患者様本位の病院」を実現するためには、全ての職員が病院感染の防止に留意し、スタンダードプリコーションを日常的に実践し、感染等発生の際は、その原因の速やかな特定、制圧、終息を図ることが重要である。病院感染防止対策を全ての職員が把握し、適切な医療を提供できるよう、本指針を作成するものである。

II 感染対策委員会の設置

- 1、 病院長のもとに、感染症管理部長を長とし、各専門職代表を構成員として組織した感染対策委員会を設け、月1回の定例会議を行う。感染対策委員会は、病院感染対策の意思決定機関であり、その指示の元に、実働部隊としてインフェクションコントロールチーム（ICT）を組織する。ICTは、感染症管理部と協力し、各部署のリンクナース、リンクドクターと連携しつつ具体的な対策を講じる。
- 2、 感染対策委員会は次の内容について協議し、感染対策を推進する。
 - ① 病院感染対策指針及び感染対策マニュアルを作成し、見直す。
 - ② 病院感染対策に関する資料を収集し、職員へ周知する。
 - ③ 職員研修を企画する。
 - ④ 異常な感染症が発生した場合は、速やかに発生原因を究明して対策を立案し、対策を実行すべく全職員に周知徹底を図る。
 - ⑤ 必要に応じて患者への情報伝達を行い、患者の疑問、不安に答えると同時に、患者・家族の感染防止に対する協力を得る

III 病院感染対策マニュアル

全ての職員は、病院感染対策マニュアルを理解し、日常業務の中で実施しなければならない。特にスタンダードプリコーションは感染防止の基本であり、全ての職員が習熟する必要がある。マニュアルは定期的に改訂し、常に最新の感染対策が提示されるようにする。

IV 感染症の報告

- 1、 医師は、下記に掲げる者を診断したときは、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」により、①は直ちに、②は7日以内に、管理課を通じて保健所長に届け出る。
 - ① 一類感染症の患者、二類感染症又は三類感染症の患者、又は無症状病原体保

有者及び新感染症に罹患していると疑われる者

- ② 四類感染症のうち、後天性免疫不全症候群、梅毒、マラリア、その他、厚生省令で定めるものの患者（無症状病原体保有者を含む）

2、 以下に掲げる感染症または保菌者が発生した場合は、施設内での感染を防御するために感染症管理部に届ける。

- ①結核菌の排菌者
- ②EKC 発症者
- ③感染性胃腸炎（ノロウイルス、O-157 等）の保菌者
- ④疥癬
- ⑤インフルエンザ
- ⑥薬剤耐性菌保菌者（ MRSA、MDRP、VRE、その他 ）
- ⑦その他重要と思われる感染症

V 病院感染発生時の対応

病院感染が疑われる場合や、重大な感染症で嚴重な感染対策が必要な場合は、以下の3つのレベルで対応する

レベル1・・・通常の感染対策で対応できる場合は、マニュアルに従って口頭で具体的対策を指示する。

レベル2・・・委員会での決定が必要で、緊急を要しない場合は、定期の感染対策委員会で審議し、方針を決定する。

レベル3・・・重大な感染症で早急な対応が必要な場合は、臨時の感染対策委員会を開催する。緊急の場合は感染症管理部長の権限で開催し、病院長、感染管理部長、同副部長、感染対策専任者の出席で議決可能とする。
また当該診療科、病棟の責任者も会に召集できる。

VI 職員研修の基本方針

枚方病院における感染対策の基本的な考えや具体策の周知徹底、さらには感染症に関わる最新の知識の習得のために、全職員を対象にした研修会を開く。

- ① 新入職の医師・看護師を対象としたオリエンテーションを入職にあわせて行う。看護助手、清掃業者、調理員などにも必要時に感染予防に関する研修を行う。
- ② その時々の特ピックスや院内で発生した感染症に関係した講演会を、有識者を招き年2回以上開催する。
- ③ 研修会や講演会に参加できなかった職員のために、資料やDVDを保存し、より多くの職員が最新の知見が得られるような環境を整える。

VII 患者への指針の公開

枚方病院での病院感染対策指針はホームページに掲載し、誰でも閲覧できるものとする。

附則

この指針は、平成 19 年 9 月 10 日から施行する。

附則

この指針は、平成 21 年 7 月 16 日から施行する。

院内感染防止対策 研修実施状況

院内感染防止対策研修実施状況（平成20年度実績）

開催年月日	研 修 会 名	参加者数	備 考
4月1～2日	感染オリエンテーション	51	
4月4日	感染オリエンテーション	116	
6月6日	針刺し事故対策	151	
7月9日	衛生管理の基本事項	58	
11月4日	感染管理の基本	29	
11月5日	感染管理の基本	36	
11月10日	感染管理の基本	31	
11月11日	感染管理の基本	39	
12月1日	細菌検査と感染対策	88	
12月2日	細菌検査と感染対策	79	
12月5日	細菌検査と感染対策	142	
12月8日	細菌検査と感染対策	144	
12月末	DVD医局講演、各医局から希望のあったテーマ	157	
12月19日	新型インフルエンザ	248	
12月25日	新型インフルエンザDVD	112	
12月26日	新型インフルエンザDVD	79	
1月6日	新型インフルエンザDVD	109	
1月9日	新型インフルエンザDVD	104	
1月23日	新型フルーと行政の対応	149	
3月末	DVD医局講演、各医局から希望のあったテーマ	82	
2月3日	感染オリエンテーション	1	
2月16日	SPと新型インフル	55	
2月末	新型インフルエンザDVD	16	
3月2日	標準予防策	27	
3月4日	標準予防策	27	
3月6日	標準予防策	18	
計		2,148	

院内感染防止対策研修実施状況（平成21年度実績・予定）

	開催年月日	研 修 会 名	参加者数	備 考
実 績	4月1～3日	SP、誤刺対策、ごみ分別	28	
	4月3日	手洗い、膀胱留置カテーテル、	28	
	4月1～3日	グラム染色	28	
	4月4日	SPと手洗い	128	
	4月4日	廃棄物処理	128	
	4月4日	消毒と滅菌	128	
	5月13日	新型インフルエンザの基礎知識とその対応	315	
	5月28日	抗菌薬の基礎知識	94	
	5月29日	抗菌薬の基礎知識	80	
	6月1日	抗菌薬の基礎知識	84	
	6月2日	抗菌薬の基礎知識	88	
	6月24日	渡航感染症	84	
	7月3日	感染オリエンテーション	1	
	7月7日	VAPの現状と展望	289	
	8月3日	VAPの現状と展望	74	
	8月4日	VAPの現状と展望	64	
予 定		外部講師による講演会		
		診療科別DVD講演会		
		職種別研修会		
		滝井病院からの沿革放映		

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年7回
<p>・研修の主な内容：</p> <p>【前年度実績】 別紙①</p> <p>【今年度実績及び計画】 別紙②</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・手順書の作成 (有・無)</p> <p>「医薬品の安全使用のための業務手順書」遵守に関する記録(別紙③)</p> <p>・業務の主な内容：</p> <p>医薬品の採用、医薬品の購入、調剤室における医薬品の管理、病棟・各部門への医薬品の提供 外来患者への医薬品使用、病棟における医薬品の管理、入院患者への医薬品使用 医薬品情報の収集・管理・提供</p>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無)</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>院内オールユーザー宛Eメールを配信。(別紙④)</p>	

別紙①

薬剤部研修会記録

日時 2008年9月25日

場所 薬剤部

参加者氏名

村中達也	澤谷佳美	高木雅代	喜多春菜	中野有美	廣田育彦
木崎秀和	川瀬泰裕	本田信次	渡邊響子	藤本佳那子	久原優子
西尾千恵	畠山京子	足立裕子	西山徳人	柳 康晴	田中久子
宇井昌史	舟見奈奈	中島 愛	宇都宮敦子	大植謙一	
山崎裕美	中山大輔	濱田陽子	田中雅幸	乾有紀子	
岡田美由紀	木元幸希	藤井良平	中野 綾	鶴見由美子	

I 薬剤部研究発表

- ①「ベンゾジアゼピン系薬剤服用により肝性脳症の発現が疑われた症例」
発表者：中島 愛 (9階担当者)

II 保険薬事委員会報告

①新規採用医薬品

『ヒュミラ皮下注40mgシリンジ0.8mL』，『スーテントカプセル12.5mg』

②新規採用決定院外処方箋専用医薬品

『アドエア100ディスカス』，『アドエア250ディスカス』，『アドエア500ディスカス』
『グレースビット錠50mg』 『ディビゲル1mg』

③連絡事項

市販直後調査対象医薬品一覧，販売中止品目，販売元変更品目，社名変更製薬企業
長期投与制限解除品目，ワイス製品の供給状況について，
医薬品・医療機器等安全性情報 (No.248,249) (別紙参照)

④その他

薬剤部研修会記録

日時 2008年10月23日

場所 薬剤部

参加者氏名

村中達也	打谷和記	寺澤美智代	高木雅代	久原優子	古長育美
齋藤佳代	池嶋孝広	川瀬泰裕	本田信次	渡邊響子	田中久子
本西 哲	東村 舞	畠山京子	今井 玲	足立裕子	西山徳人
長瀧真実	松井沙織	中島 愛	井上真由美	宇都宮敦子	廣田育彦
山崎裕美	中山大輔	濱田陽子	角井寿代	田中雅幸	大植謙一
岡田美由紀	木元幸希	藤井良平	中野 綾	鶴見由美子	

I 薬剤部研究発表

- ① 「WarfarinとPaclitaxel併用時のPT-INRに及ぼす影響の検討」
発表者：角井寿代 (6階担当者)

II 保険薬事委員会報告

①新規採用医薬品

『デュロテップMTパッチ2.1mg』，『デュロテップMTパッチ4.2mg』，
『デュロテップMTパッチ8.4mg』，『ゾシン静注用4.5g』

②新規採用決定院外処方箋専用医薬品

『ガスターD錠10mg』，『コンサータ錠18mg』，『コンサータ錠27mg』
『エストラーナテープ0.72mg』

③連絡事項

切替採用品目、市販直後調査対象医薬品一覧、剤形変更品目(錠剤サイズの変更)、
錠剤の識別コード変更品目、貯法および包装変更品目、
医薬品・医療機器等安全性情報(No.250)(別紙参照)

④その他

薬剤部研修会記録

日時 2008年11月27日

場所 薬剤部

参加者氏名

村中達也	打谷和記	澤谷佳美	中野有美	千野和則	鶴見由美子
齋藤佳代	池嶋孝広	本田信次	渡邊響子	藤本佳那子	田中久子
本西 哲	東村 舞	西尾千恵	畠山京子	宇都宮敦子	古長育美
宇井昌史	長瀧真実	松井沙織	中島 愛	井上真由美	廣田育彦
山寄裕美	中山大輔	濱田陽子	角井寿代	田中雅幸	大植謙一
岡田美由紀	山元悠有希	近藤弘美	木元幸希	藤井良平	中野 綾

I 薬剤部研究発表

- ①「ソラフェニブ使用患者の症例を経験して」
発表者：本間信次 (12階担当者)
- ②「臨床上問題となる相互作用について考える」Part 1
1年生 (入職1年目)

II 2008年OHP新入局薬剤師研修会報告

- ①市立池田病院
- ②北野病院
- ③大阪市立総合医療センター病院
- ④大阪大学医学部附属病院
- ⑤市立堺病院

III 保険薬事委員会報告

- ①新規採用医薬品
『アービタックス注射液100mg』，『マクジエン硝子体内注射用キット0.3mg』
- ②新規採用決定院外処方箋専用医薬品
『イリボー錠5 μ g』，『トピナ錠50mg』，『フェルナビオンテープ35』
『ディフェリングル0.1%』，『イソバイド<1包30mL分包品>』
『スカイロン点鼻液50 μ g56噴霧用』，『ナゾネックス点鼻液50 μ g 56噴霧用』
『フォリスチム注300IUカートリッジ』，『フォリスチム注600IUカートリッジ』
- ③連絡事項
切替採用品目、市販直後調査対象医薬品一覧、販売中止に伴う在庫抹消品目
錠剤・カプセル剤の識別コード変更品目、販売元変更品目
医薬品・医療機器等安全性情報 (No.251) (別紙参照)

- ④その他

薬剤部研修会記録

日時 2008年12月25日

場所 薬剤部

参加者氏名

大植謙一	村中達也	打谷和記	澤谷佳美	高木雅代	喜多春菜	中野有美
木崎秀和	齋藤佳代	池嶋孝広	川瀬泰裕	本田信次	渡邊響子	藤本佳那子
本西 哲	東村 舞	西尾千恵	今井 玲	足立裕子	西山徳人	廣田育彦
宇井昌史	松井沙織	中島 愛	井上真由美	宇都宮敦子	千野和則	
山寄裕美	濱田陽子	角井寿代	田中雅幸	古長育美	乾有紀子	
岡田美由紀	山元悠有希	近藤弘美	藤井良平	鶴見由美子	田中久子	

I 薬剤部研究発表

- ①「カペシタビンによるワルファリン作用増強を認めた一例」
発表者：松井沙織
- ②「ワルファリンとロルノキシカムとの併用により抗凝固作用の著明な増強を認めた一例」
発表者：喜多春菜
- ③「ミグリトールによって肝障害と高カリウム血症を発現した一症例」
発表者：中野有美

II その他連絡事項

薬剤部研修会記録

日時 2009年1月29日

場所 薬剤部

参加者氏名

大植謙一	村中達也	打谷和記	澤谷佳美	寺澤美智代	高木雅代
木崎秀和	齋藤佳代	池嶋孝広	中野有美	藤本佳那子	久原優子
本西 哲	東村 舞	西尾千恵	畠山京子	喜多春菜	千野和則
宇井昌史	長瀧真実	松井沙織	井上真由美	宇都宮敦子	鶴見由美子
中山大輔	古長育美	乾有紀子	榎 康晴	田中久子	廣田育彦
岡田美由紀	近藤弘美	木元幸希	藤井良平	中野 綾	

I 薬剤部研究発表

- ①「抗生物質含有骨セメントビーズ留置後に著しい好酸球数上昇と腎機能低下を呈した一症例」

発表者：井上真由美 (6階担当者)

II 保険薬事委員会報告

①新規採用医薬品

『イトリゾール注1% [200mg]』，『アートセレブ脳脊髄手術用洗浄灌流液』

②新規採用決定院外処方箋専用医薬品

『ピレスパ錠200mg』，『ラミクタール錠25mg』，『ラミクタール錠100mg』
『トレドミン錠50mg』，『フリバスOD錠25mg』，『フリバスOD錠50mg』
『タプロス点眼液0.0015%』

③連絡事項

切替採用品目、市販直後調査対象医薬品、後発医薬品追加導入品、
貯法変更品目、販売元変更品目、長期投与制限解除品目
医療事故防止目的での製品名変更品目
医薬品・医療機器等安全性情報 (No.252,3) (別紙参照)

④その他

薬剤部研修会記録

日時 2009年2月26日

場所 薬剤部

参加者氏名

大植謙一	村中達也	打谷和記	澤谷佳美	寺澤美智代	廣田育彦
齋藤佳代	中野有美	藤本佳那子	久原優子	角井寿代	千野和則
本西 哲	東村 舞	西尾千恵	島山京子	喜多春菜	
宇井昌史	長瀧真実	松井沙織	宇都宮敦子	鶴見由美子	
中山大輔	古長育美	柳 康晴	田中久子	山元悠有希	
近藤弘美	木元幸希	藤井良平	中野 綾	高木雅代	
宇都宮敦子	今井 玲	西山徳人	足立裕子	本間信次	

I 薬剤部研究発表

「腎機能低下患者におけるブホルミンからメトホルミンへの切り替えに関する考察」

発表者：東村 舞 本西 哲 (12階担当者)

II 保険薬事委員会報告

①新規採用医薬品

『アクテムラ点滴静注用80 mg』, 『クレストール錠5mg』 『リレンザ』
『ボルヒール(5mL) 献血』

②新規採用決定院外処方箋専用医薬品

『ユリーフ錠4mg』

③連絡事項

切替採用品目、市販直後調査対象医薬品、献血由来製剤への切替品目、経過措置期間終了にともなうマスタ登録抹消品、販売元変更品目、「ケナコルトA注」の全ロット製品回収について、自己注射用インスリン製剤等の製品名変更、医薬品・医療機器等安全性情報 (No.254) (別紙参照)

薬剤部研修会記録

日時 2009年3月26日

場所 薬剤部

参加者氏名

大植謙一	村中達也	打谷和記	澤谷佳美	寺澤美智代	高木雅代
木崎秀和	齋藤佳代	池嶋孝広	中野有美	藤本佳那子	久原優子
本西 哲	東村 舞	西尾千恵	畠山京子	喜多春菜	千野和則
宇井昌史	長瀧真実	松井沙織	井上真由美	宇都宮敦子	鶴見由美子
中山大輔	古長育美	乾有紀子	柳 康晴	田中久子	廣田育彦
岡田美由紀	近藤弘美	木元幸希	藤井良平	中野 綾	

I 薬剤部研究発表

「臨床上問題となる相互作用について考える」 part2

岡田美由紀, 山元悠有希, 近藤弘美
木元幸希, 藤井良平

II 保険薬事委員会報告

①新規採用医薬品

『ゼチーア錠10mg』, 『ソナゾイド注射用16 μ L』
『ルセンチス硝子体内注射液2.3mg/0.23mL』

②新規採用決定院外処方箋専用医薬品

『タシグナカプセル200mg』他(別紙参照)

③連絡事項

切替採用品目、市販直後調査対象医薬品、
注射用メソトレキセート5mgの在庫消尽について
遺伝子組換え人血清アルブミン製剤「メドウェイ注5%」の製造販売承認取下げについて
医薬品・医療機器等安全性情報(No.255)(別紙参照)

④その他

別紙②

薬剤部研修会記録

日時 2009年4月23日

場所 薬剤部

参加者氏名

大植謙一	村中達也	打谷和記	澤谷佳美	山本真悠子	町谷友紀奈
池嶋孝広	久原優子	角井寿代	本間信次	谷口昌美	古川智美
本西 哲	西尾千恵	畠山京子	喜多春菜	千野和則	秋月未希
長瀧 真実	松井沙織	井上真由美	鶴見由美子	三浦麻実	内海裕美
中山大輔	古長育美	田中久子	廣田育彦	中野綾	山元悠有希
岡田美由紀	近藤弘美	木元幸希	藤井良平	川瀬泰裕	
田中雅幸	渡邊響子	濱田陽子	今井 玲	西山徳人	足立裕子

I 薬剤部研究発表

「」

発表者：今井 玲 (9階担当者)

II 保険薬事委員会報告

①新規採用医薬品

『ジスロマックSR成人用ドライシロップ2g』, 『ホスレノールチュアブル錠250mg』

②新規採用決定院外処方箋専用医薬品

『スプリセル錠20mg』 『スプリセル錠50mg』 『ニューロタン錠100mg』
『アドエア50エア-120吸入用』 『アマージ錠2.5mg』

③連絡事項

市販直後調査対象医薬品、長期投与制限解除品目、
医療事故防止目的での製品名変更品目 (平成21年3月24日付官報告示分等)
後発医薬品導入に伴う先発医薬品の抹消について
医薬品・医療機器等安全性情報 (No.256) (別紙参照)

④その他

薬剤部研修会記録

日時 2009年5月28日

場所 薬剤部

参加者氏名

大植謙一	村中達也	打谷和記	澤谷佳美	高木雅代	角井寿代
木崎秀和	池嶋孝広	藤本佳那子	谷口昌美	古川智美	山元悠有希
畠山京子	千野和則	山本真悠子	町谷友紀奈	三浦麻実	秋月未希
宇井昌史	長瀧真実	松井沙織	井上真由美	宇都宮敦子	内海裕美
乾有紀子	田中久子	足立裕子	中野綾	鶴見由美子	西山徳人
岡田美由紀	近藤弘美	藤井良平	川瀬泰裕	山寄裕美	廣田育彦
田中雅幸	瀧田陽子				

I 薬剤部研究発表

「ベンジルペニシリンカリウムによって出血性膀胱炎を発現した一例」
発表者：足立裕子ら (6階担当者)

II 保険薬事委員会報告

①新規採用医薬品

『ガバペン錠200mg』，『エビリファイ内用液0.1%<3mL分包品>』

②新規採用決定院外処方箋専用医薬品

『エビリファイ内用液0.1%<6mL分包品>』 『エビリファイ内用液0.1%<12mL分包品>』
『トレドミン錠12.5mg』 『エクジェイド懸濁用錠125 mg』

③連絡事項

市販直後調査対象医薬品について、貯法変更品目、製品名変更品目
経過措置期間終了に伴うオーダリングマスク登録抹消品目、
脊髄用造影剤「オムニパーク300 (脊髄用) 10mL」の追加採用について

④その他

薬剤部研修会記録

日時 2009年6月25日

場所 薬剤部

参加者氏名

大植謙一
木崎秀和
本西 哲
宇井昌史
古長育美
近藤弘美
田中雅幸
角井寿代
谷口昌美

村中達也
池嶋孝広
西尾千恵
長瀧真実
乾有紀子
木元幸希
渡邊響子
本間信次
古川智美

打谷和記
中野有美
畠山京子
荻野沙織
田中久子
藤井良平
濱田陽子
内海裕美
三浦麻実

澤谷佳美
藤本佳那子
喜多春菜
井上真由美
町谷友紀奈
川瀬泰裕
足立裕子
秋月未希

高木雅代
中野 綾
千野和則
宇都宮敦子
鶴見由美子
岡田美由紀
廣田育彦

I 薬剤部研究発表

「Carboplatinによる過敏反応について」

発表者：渡邊、高木、本西 (12階担当者)

II 保険薬事委員会報告

①新規採用医薬品

『サレドカプセル100』，『ノーベルバル静注用250mg』，『ドキシル注20mg』

②切替採用医薬品

『サイモグロブリン点滴静注用25mg』 『エンシュア・H』
『アラミスト点鼻液27.5 μ g56噴霧用』

②新規採用決定院外処方箋専用医薬品

『アズロキサ顆粒』 『サイゼン8mg皮下注』
『ジルテックドライシロップ1.25%』

市販直後調査対象医薬品について、錠剤の識別コード変更品目、販売中止品目
供給再開品目販売元変更品目、長期投与制限解除品目
医薬品・医療機器等安全性情報 (No.257)

④その他

薬剤部研修会記録

日時 2009年7月30日

場所 薬剤部

参加者氏名

大植謙一	村中達也	打谷和記	澤谷佳美	高木雅代	山本真悠子
木崎秀和	齋藤佳代	池嶋孝広	中野有美	藤本佳那子	久原優子
本西 哲	東村 舞	西尾千恵	千野和則	足立裕子	町谷友紀奈
宇井昌史	長瀧真実	松井沙織	井上真由美	宇都宮敦子	鶴見由美子
古長育美	乾有紀子	田中久子	今井 玲	中野綾	谷口昌美
岡田美由紀	近藤弘美	木元幸希	藤井良平	川瀬泰裕	山寄裕美
田中雅幸	渡邊響子	濱田陽子	古川智美	三浦麻実	廣田育彦

I 薬剤部研究発表

「メトトレキサート大量療法による血液濃度上昇を認めた一例」

発表者：山寄裕美ら（9階担当者）

II 保険薬事委員会報告

①新規採用医薬品

『グラセプターカプセル0.5mg』，『グラセプターカプセル1mg』，『バリキサ錠450mg』
『ゾレア皮下注用(150mg)』，『アピドラ注ソロスター』，『ラミクタール錠25mg』
『タイケルブ錠250mg』，『リコモジュリン点滴静注用12800』

②切替採用医薬品

『クラビット錠500mg』 『フルイトラン錠1mg』

③新規採用決定院外処方箋専用医薬品

『ミコンビ配合錠AP』 『ティーエスワン配合顆粒T20』
『ティーエスワン配合顆粒T25』 『リカルボン錠1mg』 『レミッチカプセル2.5μg』
『ビカルタミド錠80mg「NK」』 『ジュリナ錠0.5mg』

③連絡事項

市販直後調査対象医薬品について、錠剤の識別コード変更品目、包装変更品目、
「ファンギゾンシロップ100mg/mL」の院外処方オーダー一時停止について
医薬品・医療機器等安全性情報 (No.258)

④その他

(研修)

医薬品安全講習会

日 時：平成21年8月6日（木） 17:00～18:30

場 所：附属枚方病院薬剤部病棟業務科

主 催：附属枚方病院医薬品安全管理責任者

テーマ：サリドマイド製剤安全管理手順について

TERMS(Thalidomide Education and Risk Management System)

解 説：藤本製薬(株) 医薬情報部

横堀隆之 (TERMSモニター)

医薬品安全講習会参加者名簿

日 時：平成21年8月6日（木） 17:00～18:30

テーマ：サリドマイド製剤安全管理手順について

TERMS(Thalidomide Education and Risk Management System)

参加者：田中久子，村中達也，千野和則，打谷和記，澤谷佳美，川
瀬泰裕，池嶋孝広，畠山京子，田中雅幸，今井 玲，宇井昌
史，乾 有紀子，井上真由美，西山徳人，喜多春菜，本間信
次，中野有美，中島 愛，中野 綾，足立裕子，山崎 裕美，
中山 大輔，藤本佳那子，東村 舞，岡田美由紀，山元悠有
希，近藤弘美，内海裕美，秋月未希，山本真悠子，谷口昌美，
吉川智美，三浦麻実，金光盟子

別紙③

「医薬品の安全使用のための業務手順書」遵守に関する記録
(外来診療ブース・外来診療科別 自己点検結果)

2009.7.1作成

○:遵守している -:該当しない

処方発行に関連する事項	S1	D1	G2	G4	G5	G6	G7	G10	H1	H2	i3	J1	K1	K2	K3	K4	K5	K6	K7	遵守率
外来患者に対しては原則として院外処方箋を発行している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
入院中の他科受診の患者及び救急外来受診の患者に対しては原則として院内処方に対応している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
オーダーに際しては正確な入力を行っている。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
処方発行の際、安全確保のための注意喚起表示等に注意を払っている。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
院外処方変更時に医師が印字を手書きで修正する場合は、必要時、別途マニュアルの記載を確認している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
処方変更の場合には、その内容を記録入力している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
必要時に応じて処方変更内容及び処方変更目的を各職種へ連絡している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
照会により変更された内容などは診療側で診療録、指示簿等へ反映している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
照会や確認が円滑に行われるよう、職種間の連携体制を築いている。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%

医薬品投与後に関する事項	S1	D1	G2	G4	G5	G6	G7	G10	H1	H2	i3	J1	K1	K2	K3	K4	K5	K6	K7	遵守率
確実安全に投与されたことを確認している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
患者の訴えや臨床検査値、病態変化から副作用の可能性を検討している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
患者情報の収集に努め、副作用の初期症状、コンプライアンス等の訴えに注意している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
特に新薬の投与時や処方変更時には注意を払っている。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
治療域が狭い医薬品は、TDMを行う等、投与には細心の注意を払っている。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
必要に応じて薬物血中濃度モニタリング(TDM)による投与設計管理を行っている。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
必要に応じて定期的な検査を実施している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
副作用の早期発見及び重篤化回避のための体制整備に努めている。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
各部門が協力して緊急時のための体制を整備している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%

外来診療ブース:外来診療科

S1:放射線科 D1:救命救急センター G2:総合診療科 G4:小児科・小児外科 G5:整形外科 G6:血液・腫瘍内科 G7:化学療法センター G10:①内分泌・代謝内科,②乳腺外科,③リウマチ・膠原病科
H1:①呼吸器内科,②呼吸器外科,③消化器肝臓内科,④消化器外科・肝胆臓外科 H2:内視鏡センター i3:①循環器内科,②心臓血管外科 J1:①脳神経外科,②精神神経科
K1泌尿器科・腎臓内科 K2:女性診療科 K3:生殖医療センター K4:眼科 K5:皮膚科 K6:形成外科 K7:耳鼻咽喉科 合計26外来診療科にて実施

該当しない理由

1. 時間外診療時は外来院内処方箋にて対応

他施設との連携に関する事項	S1	D1	G2	G4	G5	G6	G7	G10	H1	H2	i3	J1	K1	K2	K3	K4	K5	K6	K7	遵守率	
処方発行時には常用量処方日数・併用・服用期間などに関するシステムによるチェック或いは警告表示を確認して必ず処方内容を点検し、オーダ発行している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
後発品に関する保険薬局への連絡は、医師がオーダ時に処方ツールで行える機能を利用し、後発品変更「可」「不可」が処方箋に印字された場合は、この出力内容を確認し、押印している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
保険番号に関する問合せは相談窓口へのFAXを受けて、医事課が対応している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
例えば保険薬局からの問合せの際には直ちに返答せず、確認の為に折返し連絡する等して個人情報保護の観点から対策を講じている。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%

医薬品の保管・補充等に関する事項	S1	D1	G2	G4	G5	G6	G7	G10	H1	H2	i3	J1	K1	K2	K3	K4	K5	K6	K7	遵守率	
医薬品の保守管理については設置場所を定め、遵守している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
救急薬の品目及び数量の設定を薬剤部との合議により定めている。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
規制医薬品や特に安全管理が必要な医薬品については、配置は必要最低限としている。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
消毒薬などは患者の手の届く場所には保管していない。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
消毒液を他容器に移し替えて保管していない。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
注射薬、吸入薬との取り間違い防止のため他の容器に移し替えて保管していない。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
配置薬を使用した場合は実施済処方・注射・処置等のツールで入力している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
オーダ指示を確認の上、実施入力を行い、電子カルテに記録している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
定数配置分以外の処置薬、皮内反応等は手書き伝票にて請求している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
医薬品は定期の供給時間が定められ、SPDにて搬送されている。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%

外来診療ブース:外来診療科

S1:放射線科 D1:救命救急センター G2:総合診療科 G4:小児科・小児外科 G5:整形外科 G6:血液・腫瘍内科 G7:化学療法センター G10:①内分泌・代謝内科,②乳腺外科,③リウマチ・膠原病科

H1:①呼吸器内科,②呼吸器外科,③消化器肝臓内科,④消化器外科・肝胆膵外科 H2:内視鏡センター i3:①循環器内科,②心臓血管外科 J1:①脳神経外科,②精神神経科

K1泌尿器科・腎臓内科 K2:女性診療科 K3:生殖医療センター K4:眼科 K5:皮膚科 K6:形成外科 K7:耳鼻咽喉科 合計26外来診療科にて実施

別紙④

差出人	件名	受信日時
Senno ...	「重篤副作用疾患別対応マニュアル」改訂について	2008/09/01...
Senno ...	MedWatch Alert: TNF遮断薬による侵襲性真菌症発現の危険性について	2008/09/09...
Senno ...	MedWatch Alert: リツキサンによる進行性多巣性白質脳症死亡例について	2008/09/17...
Senno ...	医薬品・医療機器等安全性情報(No.250)および使用上の注意改訂情報	2008/09/26...
Senno ...	MedWatch Alert: タルセバによる肝不全および肝腎症候群死亡例について	2008/09/29...
Senno ...	MedWatch Alert: 虚血性脳卒中患者へのEPO投与による死亡率上昇について	2008/10/02...
Senno ...	MedWatch Alert: スタチンと筋萎縮性側索硬化症との関連性について	2008/10/03...
Senno ...	ペン型インスリン注入器の取扱いに関するお知らせ	2008/10/07...
Senno ...	Health Canada: 授乳婦のコデイン使用に関する勧告について	2008/10/14...
Senno ...	MedWatch Alert: スピリーバによる卒中の危険率上昇の可能性について	2008/10/14...
Senno ...	MedWatch Alert: 4歳未満の幼児へのOTC感冒治療薬の使用禁止について	2008/10/14...
Senno ...	Health Canada: ポツリヌス毒素製剤の安全性情報について	2008/10/14...
Senno ...	メトトレキサート製剤の過剰投与防止対策について	2008/10/23...
Senno ...	医薬品・医療機器等安全性情報(No.251)	2008/10/31...
Senno ...	MHRA: 経口禁煙補助薬チャンピックス使用に伴う精神神経系有害反応報告について	2008/11/14...
Senno ...	MedWatch: ビスホスホネート製剤と心房細動との関連性について	2008/11/17...
Senno ...	タミフルの適正使用について	2008/11/21...
Senno ...	医薬品・医療機器等安全性情報(No.252)	2008/11/28...
Senno ...	MedWatch Alert: フェントインの安全性情報について	2008/12/03...
Senno ...	ロルカムの「重大な副作用」欄追記について	2008/12/17...
Senno ...	医薬品・医療機器等安全性情報(No.253)	2008/12/19...
Senno ...	ネクサバル錠に関する重要な安全性情報(ブルーレター)	2008/12/19...
Senno ...	MedWatch Alert: 抗てんかん薬による自殺行動に関する安全性情報について(続報)	2008/12/24...
Senno ...	Health Canada: 肝障害患者に対するタルセバ投与による死亡例について	2008/12/24...
Senno ...	Health Canada: アバステンの硝子体内投与による中毒性前眼部症候群について	2008/12/25...
Senno ...	Health Canada: アクトスによる心不全悪化に関する添付文書改訂について	2008/12/26...
Senno ...	エンブレルおよびレミケードの「警告」欄追記について	2009/01/15...
Senno ...	Health Canada: フェンタニルパッチへの換算量に関する改訂について	2009/01/15...
Senno ...	Health Canada: 禁煙補助薬チャンピックスに関する重要な安全性情報について	2009/01/15...
Senno ...	Health Canada: 局所麻酔薬注入による関節軟骨融解症の発現について	2009/01/15...
Senno ...	MedWatch Alert: シングレア(モンテルカスト)の安全性審査に関するEarly Communicationの続報	2009/01/22...
Senno ...	MedWatch Alert: エゼチミブの安全性審査に関するEarly Communicationの続報	2009/01/22...
Senno ...	Health Canada: ポツリヌス毒素製剤の安全性情報改訂について	2009/01/23...
Senno ...	医薬品・医療機器等安全性情報(No.254)	2009/01/30...
Senno ...	MedWatch Alert: クロピドグレルの安全性審査に関するEarly Communication	2009/02/03...
Senno ...	FDA Drug Safety Newsletter: 禁煙補助薬バレニクリンによる自殺念慮および自殺企図について	2009/02/05...
Senno ...	MedWatch Alert: 外用局所麻酔薬の危険性について	2009/02/05...
Senno ...	MedWatch Alert: セルセプトの患者向け医薬品ガイド導入について	2009/02/19...
Senno ...	医薬品・医療機器等安全性情報(No.255)	2009/02/27...
Senno ...	MedWatch Alert: ゴキサミドによる代謝性アシドーシス発現について	2009/03/04...
Senno ...	MedWatch Alert: メクロプラミドによる遅発性ジスキネジア発現について	2009/03/04...
Senno ...	MHRA: 小児用OTC感冒治療薬の使用制限について	2009/03/11...
Senno ...	Health Canada: 外用局所麻酔薬による重大な有害事象について	2009/03/11...
Senno ...	MedWatch Alert: MRI撮影中の経皮吸収型貼付剤による皮膚熱傷について	2009/03/11...
Senno ...	ナイキサンの「禁忌」欄追記およびブイフェンドの「警告」欄改訂について	2009/03/27...
Senno ...	医薬品・医療機器等安全性情報(No.256)	2009/03/27...
Senno ...	MedWatch Alert: ミコフェノール酸徐放錠の患者向け医薬品ガイド導入について	2009/03/30...
Senno ...	MedWatch Alert: ペン型インスリン注入器の複数患者への使用の禁止について	2009/03/30...
Senno ...	麻酔注射剤使用時の慎重かつ適正な取り扱い再徹底のお願い	2009/04/10...
Senno ...	MedWatch Alert: ロセフィンとカルシウム含有製剤との併用に関する注意改訂について	2009/04/17...
Senno ...	Health Canada: ハーセプテンによる羊水過少症について	2009/05/07...
Senno ...	Health Canada: エンブレルによる侵襲性真菌感染症の危険性について	2009/05/07...
Senno ...	抗インフルエンザ薬の安定供給について	2009/05/07...
Senno ...	フェアストンの「禁忌」欄および「併用禁忌」欄追記について	2009/05/07...
Senno ...	MedWatch Alert: ポツリヌス毒素製剤への枠組み警告の追記について	2009/05/11...
Senno ...	FDA News: OTC鎮痛・解熱薬の添付文書改訂について	2009/05/11...
Senno ...	Health Canada: 非定型抗精神病薬による無顆粒球症について	2009/05/11...
Senno ...	抗インフルエンザ薬を使用する際の注意事項について	2009/05/12...
Senno ...	タルセバによる重大な有害事象に関する安全性情報について(MedWatch Alert & Health Canada)	2009/05/18...
Senno ...	MedWatch Alert: 抗てんかん薬による自殺行動に関する添付文書改訂について	2009/05/18...
Senno ...	「重篤副作用疾患別対応マニュアル」改訂について	2009/05/26...
Senno ...	「抗インフルエンザ薬予防投与の考え方等」に係るQ&Aについて	2009/05/29...
Senno ...	医薬品・医療機器等安全性情報(No.257)	2009/05/29...
Senno ...	新型インフルエンザA(H1N1)に対するワクチンについて	2009/06/03...
Senno ...	抗インフルエンザ薬の安定供給について	2009/06/03...
Senno ...	Health Canada: セルセプト投与患者における赤芽球癆について	2009/06/11...
Senno ...	MedWatch Alert: チウラジールによる重大な肝障害について	2009/06/11...
Senno ...	カルセドの「警告」欄改訂およびグリコランの「禁忌」欄改訂ならびに「併用禁忌」欄追記について	2009/06/17...
Senno ...	MedWatch Alert: ロイコトリエン受容体拮抗薬による精神神経系有害事象について	2009/06/17...
Senno ...	MedWatch Alert: ADHD治療薬と突然死との関連を示す試験について	2009/06/23...

差出人	件名	受信日時
Senno ...	MedWatch Alert: マキシピーム投与患者における死亡率上昇に関する安全性審査結果について	2009/06/24...
Senno ...	医薬品・医療機器等安全性情報 (No.258)	2009/06/25...
Senno ...	グリコランの「使用上の注意」欄再改訂について	2009/07/03...
Senno ...	EMA: クロピドグレルとPPIの併用に関する見解について	2009/07/06...
Senno ...	MedWatch Alert: 禁煙補助薬チャンピックスによる重大な精神神経症状について(枠組み警告の新設)	2009/07/13...
Senno ...	EMA: ランタスと癌の危険性に関する見解	2009/07/15...
Senno ...	MedWatch Alert: ランタスの使用と癌の危険性との関連について	2009/07/15...
Senno ...	Health Canada: モンテルカストによる精神神経系有害反応について	2009/07/16...
Senno ...	MedWatch: 免疫抑制薬によるBKウイルス腎症の危険性について	2009/07/22...
Senno ...	MedWatch Alert: ソレアの安全性審査に関するEarly Communication	2009/07/28...
Senno ...	医薬品・医療機器等安全性情報 (No.259)	2009/07/31...
Senno ...	MedWatch Alert: TNF阻害薬使用に伴うがん発現危険率の上昇について	2009/08/10...
Senno ...	チャンピックスの「警告」欄追記について	2009/08/11...
Senno ...	MedWatch Alert: ポツリヌス毒素製剤の一般名変更と投薬過誤防止について	2009/08/11...
Senno ...	Health Canada: ソレアによる心血管系障害の危険率上昇に関する安全性審査について	2009/08/19...

差出人	件名	受信日時
Senno Kazunori	「注射用メソトレキセート5mg」の一時供給停止について	2008/10/24 (金)...
Senno Kazunori	「デュロテップMTパッチ」への切替時期に関するお知らせ	2008/11/07 (金)...
Senno Kazunori	「デュロテップMTパッチ」への切替実施日のお知らせ	2008/11/11 (火)...
Senno Kazunori	「ミノマイシン点滴静注用100mg」の処方オーダー停止に関するお知らせ	2008/11/20 (木)...
Senno Kazunori	後発医薬品の導入手順について	2008/12/18 (木)...
Senno Kazunori	導入後発医薬品の一部変更について	2008/12/26 (金)...
Senno Kazunori	後発医薬品追加導入品目について	2009/01/30 (金)...
Senno Kazunori	「ファスタニール注射用20mg」の製品名変更についてのお知らせ	2009/02/03 (火)...
Senno Kazunori	ケナコルト-A注の全ロット製品回収について	2009/02/24 (火)...
Senno Kazunori	自己注射用インスリン製剤等の製品名変更についてのお知らせ	2009/02/24 (火)...
Senno Kazunori	「注射用メソトレキセート5mg」の供給再開時期延期に関するお知らせ	2009/03/19 (木)...
Senno Kazunori	「注射用メソトレキセート5mg」の在庫消尽に関するお知らせ	2009/03/23 (月)...
Senno Kazunori	遺伝子組換え人血清アルブミン製剤「メドウェイ注5%」の製造販売承認取下げについて	2009/03/25 (水)...
Senno Kazunori	「デポ・メドロール水懸注20mg」の使用抑制のお願い	2009/04/10 (金)...
Senno Kazunori	後発医薬品導入に伴う先発医薬品の抹消について	2009/04/28 (火)...
Senno Kazunori	「フルコナール静注液0.2%(200mg)」の製品名変更についてのお知らせ	2009/05/08 (金)...
Senno Kazunori	「ミノマイシン点滴静注用100mg」の供給再開に関するお知らせ	2009/06/04 (木)...
Senno Kazunori	「フルコナール静注液0.2%(100mg)」の製品名変更についてのお知らせ	2009/07/08 (水)...
Senno Kazunori	「ファンギゾンシロップ100mg/mL」の院外処方オーダー停止に関するお知らせ	2009/07/10 (金)...
Senno Kazunori	ケナコルト-A注の供給再開に関するお知らせ	2009/08/19 (水)...

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 35 回
<p>・研修の主な内容：</p> <p> 【前年度実績】</p> <p> 別紙①</p> <p> 【今年度実績】</p> <p> 別紙②</p>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・計画の作成 (有・無)</p> <p>・保守点検の主な内容：</p> <p> 【前年度実績】</p> <p> 別紙③</p> <p> 【今年度実績】</p> <p> 別紙④</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p> 厚生労働省より発信された医療機器に関する情報を株式会社アプリシアが収集する。</p> <p> 当院に設置されている機器に関して、医用工学センター及び医療機器安全管理者は書面にて連絡を受け、内容を吟味した後、職員向けにメールで発信する。</p> <p> 医療機器安全管理者は、月 1 回行われる医療安全管理委員会に出席し、適宜情報の交換を行う。</p>	

別紙①

2008年度 医用工学センター研修一覧

日付	研修場所	研修種類	分類	対象ME機器	出席者	研修名・研修項目
2008/4/16	NICU	特定機能病院研修	⑧その他ME機器	閉鎖式保育器	NICU新人看護師	閉鎖式保育器取り扱い説明
2008/5/2	CCU(カテ室)	臨床工学技士研修	⑧その他ME機器	ポリグラフ	臨床工学技士2名 放射線技師3名 看護師3名 Dr2名	ポリグラフ 原理・使用説明・トラブルシューティング
2008/5/17	手術室	新人研修	⑧その他ME機器	マイクロターゼ キューサー CO2レーザー ホルニウムレーザー	手術室新人看護師 10名 臨床工学技士 1名	・マイクロターゼ取り扱い説明、セッティング方法、注意点 ・キューサー取扱説明、セッティング方法、注意点 ・CO2レーザー、ホルニウムレーザー取り扱い説明、注意点、
2008/6/7	GICUカンファレンス ルーム	院内ME機器研修	②人工呼吸器	EVITA4	研修医10名 臨床工学技士3名	人工呼吸管理が必要な急性呼吸器疾患(GICU 西助教) 呼吸とは 人工呼吸管理の実際 人工呼吸管理が関連した呼吸障害 肺保護戦略 ウィーニング抜管の視標 加温・加湿 人工呼吸器EVITA4の各種モードについて(ドレーゲルメディカル) VGV(従量式)・PCV(従圧式)の長短 陽圧換気と自発呼吸 PEEPとは 換気モード各種と自発呼吸 BIPAPモードガス交換と適応について
2008/6/19	13階カンファレンス ルーム	その他	その他		CCU Dr、CCU看護師 6N病棟看護師 診療放射線技士 臨床工学技士	
2008/6/24	IVR室	院内ME機器研修	⑧その他ME機器	日本光電EPS	臨床工学技士2名	EPS基礎・原理 EPS取り扱い説明
2008/7/24	MEセンター	その他	②人工呼吸器	VSシリーズ Ultra	臨床工学技士 7名	VSシリーズ Ultra簡易説明 基本画面表示と設定値確認方法 モード変更 アラーム表示内容 回路交換・切り替え後の設定方法
2008/7/25	1F IVR室1	その他	⑧その他ME機器	IVUS(S-5)	放射線技師6名、看護師2名、 臨床工学技士1名	IVUS(S-5) 取り扱い説明 画像の撮りかた 画像の解析方法 画像の保存方法
2008/7/31	9S病棟	院内ME機器研修	⑧その他ME機器	シャード社製経腸栄養ポン プ	9S看護師 10名	
2008/8/14	GICU	特定機能病院研修	②人工呼吸器	ドレーゲル社製 エビタ4	GICU看護師 8人 臨床工学技士 4人	・基本操作説明 ・アラーム対処方法
2008/09/10	医局	TAXUSの勉強会	その他	DES	神島、山本、佐久間、五十野、真鍋、 森口、梅村、秦 米田(放射線技師)、瀧北(臨床工学技 士)	TAXUSとCYPHERの比較。 TAXUSのリスト。
2008/09/10	カンファレンスルーム	院内ME機器研修	ME機器	セルセーバー、エレクタ	GICU(Ns):11名、ME:7名	操作、構成、構造
2008/11/17	13F 第6会議室	院内研修	EPS・ablation		医師 1名、看護師 20名、診療放射 線技士 2名、ME 2名	EPS・ablationの基礎

2008/11/17	6N病棟処置室	院内ME機器研修	②人工呼吸器	人工呼吸器(ザビーナ)	看護師 3名、臨床工学技士 2名	実技講習
2008/11/18	10S病棟 個室	院内ME機器研修	②人工呼吸器	人工呼吸器(ザビーナ)	看護師 9名、臨床工学技士 3名	実技講習
2008/11/18	6S病棟処置室	院内ME機器研修	②人工呼吸器	人工呼吸器(ザビーナ)	看護師 4名、臨床工学技士 2名	実技講習
2008/11/18	カテ室	院内ME機器研修	IVUS	IVUS ギャラクシー	診療放射線技師 3名、ME 2名	サーバーへのデータ送信の方法
2008/11/19	MFICU	院内ME機器研修	②人工呼吸器	人工呼吸器(ザビーナ)	看護師 10名、臨床工学技士 2名	実技講習
2008/11/19	7N病棟処置室	院内ME機器研修	②人工呼吸器	人工呼吸器(ザビーナ)	看護師 7名、臨床工学技士 2名	実技講習
2008/11/20	10N病棟処置室	院内ME機器研修	②人工呼吸器	人工呼吸器(ザビーナ)	看護師 11名、臨床工学技士 2名	実技講習
2008/11/20	11S病棟処置室	院内ME機器研修	②人工呼吸器	人工呼吸器(ザビーナ)	看護師 10名、臨床工学技士 3名	実技講習
2008/11/21	MEセンター	院内ME機器研修	②人工呼吸器	BiPAP Vision	臨床工学技士 4名	マスク装着実技講習
2008/11/26	8N病棟処置室	院内ME機器研修	②人工呼吸器	人工呼吸器(ザビーナ)	看護師 7名、臨床工学技士 1名	実技講習
2008/11/27	7S病棟処置室	院内ME機器研修	②人工呼吸器	人工呼吸器(ザビーナ)	看護師 3名、臨床工学技士 2名	実技講習
2008/11/27	10N病棟処置室	院内ME機器研修	②人工呼吸器	人工呼吸器(ザビーナ)	看護師 8名、臨床工学技士 2名	実技講習
2008/11/29	9S病棟処置室	院内ME機器研修	②人工呼吸器	人工呼吸器(ザビーナ)	看護師 6名、臨床工学技士 3名	実技講習
2008/12/09	13階講堂	院内ME機器研修	②人工呼吸器	BiPAP VISION	看護師 43名、医師 5名、臨床工学技士 5名、リハビリテーション科 3名	・急性期NPPV導入基準 ・エビデンス ・患者評価 ・マスクフィッティング 他
2008/12/16	4N病棟カンファレンスルーム	院内ME機器研修	その他	呼吸代謝測定装置	看護師 17名 臨床工学技士 1名	・装置の立ち上げ方法 ・フローセンサ校正方法 ・測定方法
2008/12/16	2階血管造影室	院内機器研修	⑧その他機器	IVUS	放射線技師 5名 臨床工学技士 1名	IVUS(ボルケーノ)の操作方法、データ保存方法
2009/01/13	2F血管造影室	院内研修	薬剤	造影剤(バイステージ)	医師 2名 看護師 1名 放射線技師 3名 臨床工学技士 2名	副作用等について
2009/01/16	CCU カテ室	院内ME機器研修	①人工心肺装置及び補助循環装置	IABP(システム98・CS100)	医師 3名 看護師 13名 放射線技師 2名 臨床工学技士 1名	IABPの原理と効果、合併症、患者管理、アラーム対応、実際の使用方法
2009/01/23	2F 血管造影室	院内ME機器研修	①人工心肺装置及び補助循環装置	IABP(システム98、CS100)	看護師 7名 臨床工学技士 4名	IABPの原理と効果、合併症、患者管理、アラーム対応、実際の使用方法
2009/01/28	2F カテ室	院内機器研修	⑧その他機器	IVUS(ボルケーノ S5)	医師 1名 放射線技師 3名 臨床工学技士 2名	VUS(ボルケーノ S5)の操作方法、データ保存方法
2009/02/04	2F カンファレンスルーム	その他	造影剤	造影剤	医師 5名 看護師 3名 放射線技師 3名 臨床工学技士 1名	バイステージの効果・副作用
2009/02/26	2F カテ室	院内ME機器研修	①人工心肺装置及び補助循環装置	IABP	看護師 13名 臨床工学技士 1名	IABPの原理・効果・操作方法等

別紙②

2009年度 医用工学センター研修一覧

日付	研修場所	研修種類	分類	対象ME機器	出席者	研修名・研修項目
2009/04/10	2F カンファレンスルーム	院内ME機器研修	⑧その他ME機器	IVUS	医師 1名、看護師 1名、放射線技師 3名、臨床工学技士 1名	IVUSの基本、画像の見方
2009/04/11	大阪国際交流センター	学会・セミナー	⑧その他ME機器		臨床工学技士 1名	内視鏡部門について
2009/4/16	NICU	特定機能病院研修	⑤閉鎖式保育器	閉鎖式保育器	看護師 11名	クベースの構造、温湿度の設定方法とその体験
2009/4/17	メルパルク京都	学会・セミナー	⑧その他ME機器	IVUS、OCT、MDCT等	臨床工学技士 1名	OCT、IVUS、MDCT、ライブデモ
2009/04/18	メルパルク京都	学会・セミナー	⑧その他ME機器	IVUS、OCT等	臨床工学技士 1名	心カテデモスト
2009/4/23		特定機能病院研修	⑤閉鎖式保育器	閉鎖式保育器	看護師 11名	クベースの構造、温湿度の設定方法とその体験
2009/05/12	手術室	院内ME機器研修	⑧その他ME機器		看護師 7名、臨床工学技士 1名	麻酔器・無影灯・ベッド・モニター・電気メス・血液ガス分析装置・ウォーマー 取り扱い
2009/05/19	手術室	院内ME機器研修	⑧その他ME機器		看護師 9名、臨床工学技士 1名	エコー・リガシユアー・DC・ラパロタワー(ソノサージ含)・カイザー用インファントウォーマー 取り扱い
2009/05/23	名古屋国際会議場	学会・セミナー	⑧その他ME機器	内視鏡	臨床工学技士 1名	消化器・内視鏡学会
2009/05/28	MEセンター	その他	①人工心肺装置及び補助循環装置	遠心ポンプ	臨床工学技士 5名、実習生 2名	
2009/05/31	阪大コンベンションセンター	学会・セミナー	②人工呼吸器		臨床工学技士 2名	人工呼吸器の基礎、血液ガスの解釈、胸部レントゲンの見方、人工呼吸器の口腔ケア
2009/06/05	OP室	院内ME機器研修	⑧その他ME機器		看護師 9名、臨床工学技士 1名	マイクロターゼ・キューサー・アルゴンビームコアギュレータ・レーザー(CO2、ヤグ、ホルミウム) 取り扱い
2009/06/05	パシフィコ横浜	学会・セミナー	血液浄化	血液透析装置、RO装置	臨床工学技士 1名	『医療機器安全管理業務の一環としての透析液清浄化の取り組み』についての発表
2009/06/11	大阪グランディアホテル	学会・セミナー	⑧その他ME機器		臨床工学技士 1名	小腸DBE・CE
2009/06/14	大阪国際会議場	学会・セミナー	⑧その他ME機器	内視鏡装置	臨床工学技士 1名	内視鏡機器取り扱いセミナー
2009/06/19	エーザイ(株)大阪コミュニケーションオフィス	チーム医療	⑧その他ME機器		臨床工学技士 1名	チーム医療としてのESDに対する取り組み
2009/06/24	GCU カンファレンスルーム	院内ME機器研修	⑧その他ME機器	OCT	医師 8名、臨床工学技士 4名、放射線技師 1名	OCTの取り扱い・原理等の説明
2009/06/26	GCU カテ室Room2	院内ME機器研修	⑧その他ME機器	Mac-Lab	臨床工学技士 2名、放射線技師 1名	Mac-Labの取り扱い説明
2009/06/26	ロイトン札幌、厚生年金会館	学会・セミナー	カテーテル治療	IVUS・OCT等	臨床工学技士 1名	IVUSとOCT比較、HD患者のCAG・PCI、DESの比較、PCIの手法
2009/06/27	ロイトン札幌、厚生年金会館	学会・セミナー	カテーテル治療	Rota等	臨床工学技士 1名	HD患者のRota、HD患者のCAG・PCI
2009/06/27	TKP大阪梅田ビジネスセンター	学会・セミナー	⑧その他ME機器	カプセル内視鏡	臨床工学技士 1名	第5回プラクティスセミナー 内視鏡感染管理、カプセル内視鏡について、胃～大腸の疾患と治療(小腸)
2009/06/29	2F 血管造影室	院内ME機器研修	⑧その他ME機器	ポリグラフ	医師 10名、放射線技師 3名、臨床工学技士 1名	Mac-Labの取り扱い説明

2009/07/03	7S病棟処置室	院内ME機器研修	②人工呼吸器	BiPAP VISION	看護師 7名、臨床工学技士 1名	操作説明、アラーム対応について、マスク装着について
2009/07/04	ヒルトン大阪	学会・セミナー	⑧その他ME機器		臨床工学技士 1名	大腸内視鏡手技の最前線 CO2ガス送気による大腸内視鏡
2009/07/07	大阪警察病院	その他	⑧その他ME機器		臨床工学技士 1名、看護師 1名	内視鏡センター見学 内視鏡センターの組織と人員配置、業務と役割分担について、患者動線、職員動線
2009/07/13	CCUカンファレンスルーム	院内ME機器研修	⑧その他ME機器	OCT	医師 11名、放射線技師 1名、臨床工学技士 2名	OCTの原理と操作説明
2009/07/10	13階合同カンファレンスルーム	その他	⑧その他ME機器	AED	臨床工学技士 2名	AEDを用いたBLSについて、講習、実技演習
2009/07/04	大阪モード・HAL マルチホール(20F)	学会・セミナー	⑧その他ME機器		臨床工学技士 2名	医療機器を安全に扱う為の電気の基礎知識、医療機器を安全に扱う為の医療ガスの基礎知識、人工呼吸器のトラブル事例と対策、医療機器安全管理の実際1、呼吸モニタのトラブル事例と対策、輸液ポンプのトラブル事例と対策、医療機器安全管理の実際2(医療機器安全責任者の説明)
2009/07/10	13階	その他	⑧その他ME機器	AED	臨床工学技士 2名	BLS講習
2009/07/18	ホテルモントレ ラ・スール大阪2F「彩華」	その他	⑧その他ME機器		臨床工学技士 1名	関西消化器内視鏡懇談会
2009/07/26	品川プリンスホテル 10階 大津	その他	⑧その他ME機器		臨床工学技士 1名	第2回日本カプセル内視鏡研究会総会・学術集会
2009/07/28	MEセンター	院内ME機器研修	②人工呼吸器	SiPAP	臨床工学技士 4名、アプリア 1名	
2009/07/31	2F 血管造影室	院内ME機器研修	⑧その他ME機器	iLab	医師 1名、放射線技師 1名、臨床工学技士 1名	iLabの操作方法
2009/08/01		その他	⑧その他ME機器	カプセル内視鏡	臨床工学技士 1名	第1回 近畿カプセル内視鏡読影セミナー
2009/8/4	1F アンギオ室	院内ME機器研修	⑧その他ME機器	電気メス		取り扱い説明会
2009/08/10	CCU血管造影室	院内ME機器研修	⑧その他ME機器	IVUS	医師 4名、放射線技師 1名、臨床工学技士 2名	IVUS(S5)の操作方法
2009/08/15	西梅田ビル2階	その他	⑧その他ME機器	人工弁(生体弁)	臨床工学技士 2名	生体弁の特徴、豚の心臓を使用して弁置換術の講習

別紙③

平成20年度
保守点検結果報告

関西医科大学附属枚方病院
医用工学センター

関西医科大学附属枚方病院MEセンター 平成20年度保守点検計画

メーカーに依頼

平成 21 年 3 月 31 日 現在

No.	業事法による分類	一般名	部署	保有台数(台)	点検回数/年(1台当り)	総点検回数	実施者	実際(今現在)	年間差異	点検完了	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		予想工数(H)/台	点検実施人等(人)	年間点検総時間	備考				
											予定	実際	予定	実際	予定	実際	予定	実際	予定	実際	予定	実際	予定	実際	予定	実際	予定	実際	予定	実際	予定	実際	予定	実際					予定	実際	予定	実際
1	麻酔器並びに麻酔器用呼吸器及びガス吸引管のうち、麻酔器	麻酔器	手術室、他	20	2	40	ME	40	0	OK																								0.5	1	20	酸素センサー交換(1~1.5年)。流量センサー交換(3ヶ月~1年)。雾化器(3年)					
2	電気手術器	電気メス	手術室	21	2	42	ME	42	0	OK							21			21													0.5	1	21							
3	輸液ポンプ	輸液ポンプ	中央管理(MEセンター)	296	2	592	ME	556	36	FALSE							296	118		116									296	131		106		45	0.8	1	474	バッテリー交換(2年毎) バッテリー点検1回/年				
4	輸液ポンプ	シリンジポンプ	中央管理(MEセンター)	26	3	78	ME	0	78	FALSE			26	16		9					26	15		10					26	7		9		11	0.8	1	62					
5	輸液ポンプ	シリンジポンプ	中央管理(MEセンター)	307	2	614	ME	519	95	FALSE							281	146		78									281	129		133		18	0.8	1	491	バッテリー交換(2年毎) バッテリー点検1回/年				
6	温度制御式運搬用保育器	搬送用保育器	NICU、他	2	1	2	ME	2	0	OK																						2	2									
7	開放式保育器	インファントウォーマー	NICU、他	8	適時	適時	ME	0		OK																																
8	内視鏡装置・スコープ		内視鏡室		1	1	メーカー	1	0	OK																			1	1												
9	内視鏡装置・スコープ		内視鏡室以外		1	1	メーカー	1	0	OK																			1	1												
10	生体情報モニタ	生体情報モニタ	各部署		適時	適時	ME	0		OK																																
								0	0	OK																										0						
合計				680		1370		1,161	209	FALSE	0	0	26	16	0	9	598	264	0	215	46	71	0	24	0	5	0	0	625	286	1	249	22	99			1,068					

*毎月の点検回数は目安であり、機器の使用状況によって変更することがあります。

No.	業事法による分類	一般名	部署	保有 台数 (台)	点検回数/ 年(1台当り)	総点検 回数	実施者	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		備考
								予定	実際	予定	実際	予定	実際	予定	実際	予定	実際	予定	実際	予定	実際	予定	実際	予定	実際	予定	実際	予定	実際	予定	実際	
1	人工心肺装置及び補助循環装置	人工心肺装置	手術室	1	1	1	メーカー、ME			1				1																		バッテリー交換
		IABP・PCPS	GICU、CCU	4	1	4	メーカー、ME										1						3								3	IABP:セーフティーディスク・バッテリー交換(2年毎)
2	人工呼吸器	人工呼吸器	中央管理(MEセンター)	65	2	130	メーカー、ME					37	36	4	33	33								37	28	7	33			10	酸素センサー交換(1~1.5年)。流量センサー交換(3ヶ月~1年)。バッテリー(1年)等	
3	血液浄化装置	人工透析装置	血液浄化センター、他	14	1	14	メーカー、ME																10	4	2		10	2				消耗部品定期点検・交換
		持続的血液浄化装置	GICU、CCU、他	6	1	6	メーカー、ME																	6								バッテリー交換
4	除細動装置	除細動装置	各部署	25	2	50	ME	25	25														25	12		13						バッテリー交換(1.5~2年毎)
5	閉鎖式保育器	閉鎖式保育器	NICU、他	20	1	20	メーカー、ME					2		2		2		2		2		2		2		2		2	16	2	4	適時酸素センサー交換・フィルター交換(3ヵ月毎) 18年バッテリー交換
6	診療用高エネルギー放射線発生装置	診療用高エネルギー放射線発生装置	放射線科(リニアック室)	2	4	8	メーカー			1	1	1	1		1	1	1	1				1	1	1	1		1	1	1	1		
合計				137		233		25	25	2	1	40	37	2	5	36	34	4	1	27	12	16	14	50	31	2	17	36	19	3	18	

*毎月の点検回数は目安であり、機器の使用状況によって変更することがあります。
 *各部署、メーカーと日程に関して打ち合わせが必要なものは、日程を変更することがあります。

関西医科大学附属枚方病院 医用工学センター 平成20年度保守点検計画(機器別)

No.	業事法による分類	一般名	型式	メーカー	管理番号	製造番号	配置部署	保有台数(台)	点検回数/年(1台当り)	総点検回数	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		実施者	
											予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施		予定
1	人工心肺装置及び補助循環装置	人工心肺装置	スタッカーTⅢ	ソーリン	/	10S5235	中央手術室	1	1				1																						メーカー ME	
		経皮的人工心肺装置	SP-101	テルモ	/	102006	中央手術室	1	1										1															1		
		大動脈内バルーンポンプ	CS98	エドワーズ	/	S83269-K9	GICU	3	1	3																										3
			CS100	エドワーズ	/	SA04321-15	CCU																													
2	人工呼吸器	人工呼吸器	SABINA(S)	日本光電	ME-C001	ARWL0257	CCU・GICU・4N 4N-ICU・6N病棟 6S病棟・8S病棟 9S病棟・10N病棟	21	2	42																									メーカー ME	
			SABINA(S)	日本光電	ME-C002	ARWL0103																														
			SABINA(S)	日本光電	ME-C003	ARWL0253																														
			SABINA(S)	日本光電	ME-C035	ARWL0234																														
			SABINA(S)	日本光電	ME-C036	ARWL0274																														
			SABINA(S)	日本光電	ME-C042	ARWL0275																														
			SABINA(S)	日本光電	ME-C044	ARWL0277																														
			SABINA(S)	日本光電	ME-C045	ARWL0276																														
			SABINA(S)	日本光電	ME-C046	ARWL0273																														
			SABINA(S)	日本光電	ME-C047	ARWL0153																														
			SABINA(S)	日本光電	ME-C048	ARWL0268																														
			SABINA(S)	日本光電	ME-C063	ARWE0071																														
			SABINA(S)	日本光電	ME-C064	ARWM0119																														
			SABINA(S)	日本光電	ME-C065	ARWL0255																														
			SABINA(S)	日本光電	ME-C066	ARWL0100																														
			SABINA(S)	日本光電	ME-C067	ARWL0101																														
			SABINA(S)	日本光電	ME-C069	ARWL0256																														
			SABINA(S)	日本光電	ME-C070	ARWL0235																														
			SABINA(S)	日本光電	ME-C071	ARWL0102																														
SABINA(F)	日本光電	ME-C072	ARWL0254																																	
SABINA(F)	日本光電	ME-C073	ARWL0118																																	

No.	薬事法による分類	一般名	型式	メーカー	管理番号	製造番号	配置部署	保有 台数 (台)	点検回数 /年(1台 当り)	総点 検回 数	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		実施者									
											予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施		予定	実施	予定	実施					
2	人工呼吸器	人工呼吸器	EVT-4000	日本光電	ME-C004	ARWM0243	CCU・GICU・4N・ 4N-ICU・7N病棟	16	2	32																										メーカー ME								
			EVT-4000	日本光電	ME-C005	ARWM0149																																						
			EVT-4000	日本光電	ME-C037	ARWM2006																																						
			EVT-4000	日本光電	ME-C038	ARWM0350																																						
			EVT-4000	日本光電	ME-C039	ARWM0207																																						
			EVT-4000	日本光電	ME-C040	ARWM0240																																						
			EVT-4000	日本光電	ME-C041	ARWM0349																																						
			EVT-4000	日本光電	ME-C043	ARWM0241																																						
			EVT-4000	日本光電	ME-C050	ARWM0279																																						
			EVT-4000	日本光電	ME-C051	ARWM0242																																						
			EVT-4000	日本光電	ME-C052	ARWM0244																																						
			EVT-4000	日本光電	ME-C056	ARWM0203																																						
			EVT-4000	日本光電	ME-C057	ARWM0348																																						
			EVT-4000	日本光電	ME-C058	ARWM0205																																						
			EVT-4000	日本光電	ME-C059	ARWM0204																																						
			EVT-4000	日本光電	ME-C068	ARWM0150																																						
						ベネット840	タイコヘルスケア	ME-C053	3510053673	GICU	3	2	6																										メーカー ME					
						ベネット840	タイコヘルスケア	ME-C054	3510053679																																			
						ベネット840	タイコヘルスケア	ME-C055	3510053674																																			
						BiPAP Vision	フジ・レスピロニクス	ME-C007	120525	GICU	2	2	4																										メーカー ME					
			BiPAP Vision	フジ・レスピロニクス	ME-C008	119011																																						
			Baby log8000PLUS	ドレーゲル	ME-C020	ARTF0043	NICU	5	2	10																										メーカー ME								
			Baby log8000PLUS	ドレーゲル	ME-C022	ARWL0083																																						
			Baby log8000PLUS	ドレーゲル	ME-C023	ARWL0082																																						
			Baby log8000PLUS	ドレーゲル	ME-C024	ARSF0047																																						
			Baby log8000PLUS	ドレーゲル	ME-C025	ARWL0082																																						
			ハミングV	大黒	ME-C012	V7625	NICU	4	2	8																										メーカー ME								
			ハミングV	大黒	ME-C017	V7305																																						
			ハミングV	大黒	ME-C018	V7084																																						
			ハミングV	大黒	ME-C026	V7385																																						

No.	薬事法による分類	一般名	型式	メーカー	管理番号	製造番号	配置部署	保有台数(台)	点検回数/年(1台当り)	総点検回数	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		実施者			
											予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施		予定	実施	予定
2	人工呼吸器	人工呼吸器	インファントフロー	エアウォーター	ME-C014	06176	NICU	6	2	12																										メーカー ME		
			インファントフロー	エアウォーター	ME-C015	07606																																
			インファントフロー	エアウォーター	ME-C016	06174																																
			インファントフロー	エアウォーター	ME-C028	AFN01077																																
			インファントフロー	エアウォーター	ME-C030	03434																																
			インファントフロー	エアウォーター	ME-C031	03402																																
			セクリスト	セクリスト	ME-C013	01582	NICU	3	2	6																										メーカー ME		
			セクリスト	セクリスト	ME-C019	14484																																
			セクリスト	セクリスト	ME-C029	14531																																
			ベアカブ750VS	IMI	ME-C027	53007108	NICU	2	2	4																											メーカー ME	
			ベアカブ750VS	IMI	ME-C074	53005743																																
			VIP VIRD GOLD	IMI	ME-C032	AFM01240	5E	3	2	6																												メーカー ME
			VIP VIRD GOLD	IMI	ME-C033	AFM01223																																
			VIP VIRD GOLD	IMI	ME-C034	AFM01221																																
パラパック 200DMRI	スミスメディカル	ME-C060	0509324	初療室 4N-ICU	3	2	6																												メーカー ME			
パラパック 200DMRI	スミスメディカル	ME-C061	0510331																																			
パラパック 200DMRI	スミスメディカル	ME-C062	0509323																																			
3	血液浄化装置	血液浄化装置	TR-3000M	東レメディカル	ME-H001	B5H063	人工透析室	20	1	20																										メーカー ME		
			TR-3000M	東レメディカル	ME-H002	B5H073																																
			TR-3000M	東レメディカル	ME-H003	B5H074																																
			TR-3000M	東レメディカル	ME-H004	B5H075																																
			TR-3000M	東レメディカル	ME-H005	B5H076																																
			TR-3000M	東レメディカル	ME-H006	B5H077																																
			TR-3000M	東レメディカル	ME-H007	B5H078																																
			TR-2000S	東レメディカル	ME-H008	A23C11																																
			TR-2000S	東レメディカル	ME-H009	A14C27																																
			TR-7000M	東レメディカル	ME-H014	A5XA18																																
			JUN-505	ウベ循研	ME-H017	UA145					4N-ICU																											
			JUN-505	ウベ循研	ME-H018	UA144																																
			JUN-505	ウベ循研	ME-H019	UA143																																
			JUN-505	ウベ循研	ME-H020	UA147					GICU																											
			JUN-505	ウベ循研	ME-H021	UA146																																
			JUN-505	ウベ循研	ME-H022	UA160					CCU																											
			TR-2000S	東レメディカル	ME-H023	95C08					GICU																											
			TR-7000S	東レメディカル	ME-H025	A59B05					TR-7000S																											
TR-2000S	東レメディカル	ME-H026	A14C28	TR-2000S																																		
TR-2000S	東レメディカル	ME-H028	95C07	MEセンター																																		

No.	業事法による分類	一般名	型式	メーカー	管理番号	製造番号	配置部署	保有台数(台)	点検回数/年(1台当り)	総点検回数	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		実施者																																					
											予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施		予定	実施	予定	実施	予定	実施																															
4	除細動装置	除細動装置	TEC-7731	日本光電	ME-F002	00076	CCU・GICU・4N 4N-ICU・6N病棟 6S病棟・8S病棟 9S病棟・10N病棟	25	2	46	25	9	16																								メーカー ME																																			
			TEC-6100	日本光電	ME-F003	04399																																																																		
			TEC-7731	日本光電	ME-F004	00113																																																																		
			TEC-7731	日本光電	ME-F005	00123																																																																		
			TEC-7731	日本光電	ME-F006	00127																																																																		
			TEC-7731	日本光電	ME-F007	00112																																																																		
			TEC-7731	日本光電	ME-F008	00126																																																																		
			TEC-2312	日本光電	ME-F009	10170																																																																		
			TEC-7731	日本光電	ME-F010	00077																																																																		
			TEC-7731	日本光電	ME-F011	00124																																																																		
			TEC-6100	日本光電	ME-F012	04390																																																																		
			TEC-6100	日本光電	ME-F013	04398																																																																		
			TEC-7721	日本光電	ME-F014	00022																																																																		
			TEC-7721	日本光電	ME-F015	00037																																																																		
			TEC-6100	日本光電	ME-F016	04402																																																																		
			TEC-7721	日本光電	ME-F017	00004																																																																		
			TEC-6100	日本光電	ME-F018	0014																																																																		
			TEC-6100	日本光電	ME-F019	04395																																																																		
			TEC-6100	日本光電	ME-F020	04400																																																																		
			TEC-7511	日本光電	ME-F024	01047																																																																		
			TEC-7531	日本光電	ME-F025	00910																																																																		
TEC-7731	日本光電	ME-F026	00128																																																																					
TEC-6100	日本光電	ME-F027	04401																																																																					
				日本光電																																																																				
				日本光電																																																																				
5	閉鎖式保育器	閉鎖式保育器	V-2200G 21455	アトムメディカル	ME-L001	15Z5585	NICU・5N病棟	20	1	20																											メーカー ME																																			
			V-2200G 21455	アトムメディカル	ME-L002	15Z5586																																																																		
			V-2200G 21455	アトムメディカル	ME-L003	15Z5591																																																																		
			V-2200G 21455	アトムメディカル	ME-L004	15Z5587																																																																		
			V-2200G 21455	アトムメディカル	ME-L005	15Z5590																																																																		
			V-2200G 21455	アトムメディカル	ME-L006	15Z5594																																																																		
			V-2200G 21455	アトムメディカル	ME-L007	15Y7019																																																																		
			V-2200G 21455	アトムメディカル	ME-L008	15Y7018																																																																		
			V-2200G 21455	アトムメディカル	ME-L009	15Z5592																																																																		
			V-2200G 21455	アトムメディカル	ME-L010	15Z5589																																																																		
			V-2200G 21455	アトムメディカル	ME-L011	15Z5593																																																																		
			VI-2100GI	アトムメディカル	ME-L012	100127620010007																																																																		
			VI-2100GI	アトムメディカル	ME-L013	143815																																																																		
			VI-2100GI	アトムメディカル	ME-L014	100127620010006																																																																		
			V-2100	アトムメディカル	ME-L015	7052607																																																																		
			V-2100	アトムメディカル	ME-L016	711411																																																																		
			V-2200G 21455	アトムメディカル	ME-L017	15Z5588																																																																		
V-808 21955	アトムメディカル	ME-L018	1628808																																																																					
VI-2100GI	アトムメディカル	ME-L019	1050813																																																																					
VI-2100GI	アトムメディカル	ME-L020	100127620010008																																																																					
VI-2100GI	アトムメディカル	ME-L021	1343814																																																																					
6	診療用高エネルギー放射線発生装置	診療用高エネルギー放射線発生装置	Clinac 21EX	バリアンメディカル	-	-	リニアック室	1	4	8			1	1				1	1					1	1							1	1				メーカー																																			
			Clinac 21EX	バリアンメディカル	-	-	リニアック室	1	4	8				1	1					1	1				1	1						1	1																																							
合計								140	37	241	25	9	2	17	40	37	2	5	34	29	4	1	27	12	16	14	50	38	2	12	34	35	3	19																																						

* 毎月の点検回数は目安であり、機器の使用状況によって変更することがあります。
* 輸液ポンプ・シリンジポンプは、代替と交換しながら点検を行います。
* 新規購入機器の点検日程は変更することがあります。
* 各部署、メーカーと日程に関して打ち合わせが必要なものは、日程を変更することがあります。

平成 21 年度
保守点検状況経過報告

(平成 21 年 8 月 25 日現在)

関西医科大学附属枚方病院
医用工学センター

関西医科大学附属枚方病院 医用工学センター 平成21年度保守点検計画

メーカーに依頼

No.	薬事法による分類	一般名	部署	保有台数(台)	点検回数/年(1台当り)	総点検回数	実施者	実際(今現在)	年間差異	点検完了	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		予想工数(H)/台	点検実施人数(人)	年間点検総時間	備考					
											予定	実際	予定	実際	予定	実際	予定	実際	予定	実際	予定	実際	予定	実際	予定	実際	予定	実際	予定	実際	予定	実際	予定	実際					予定	実際	予定	実際	
1	麻酔器並びに麻酔器用呼吸器及びガス吸引装置のうち、麻酔器	麻酔器	手術室、他	20	2	40	ME	0	40	FALSE											20												20	0.5	1	20	酸素センサー交換(1~1.5年)。流量センサー交換(3ヶ月~1年)。氮化器(3年)						
2	電気手術器	電気メス	手術室	21	2	42	ME	20	22	FALSE							21	10	10															21	0.5	1	21						
3	輸液ポンプ	輸液ポンプ	中央管理(MEセンター)	296	2	592	ME	251	341	FALSE		3	0	24	270	197	27																		270	0.8	1	474	バッテリー交換(2年毎) バッテリー点検1回/年				
4	輸液ポンプ	シリンジポンプ	中央管理(MEセンター)	26	3	78	ME	0	78	FALSE			26	24			2	3	26															26	0.8	1	62						
5	輸液ポンプ	シリンジポンプ	中央管理(MEセンター)	281	2	562	ME	280	282	FALSE			68	148	281	56	8																		281	0.8	1	450	バッテリー交換(2年毎) バッテリー点検1回/年				
6	開放式保育器	インファントウォーマー	NICU、他	8	適時	適時	ME	0		OK																																	
7	内視鏡装置・スコープ		内視鏡室		1	1	メーカー	0	1	FALSE																								1									
8	内視鏡装置・スコープ		内視鏡室以外		1	1	メーカー	0	1	FALSE																								1									
9	生体情報モニタ	生体情報モニタ	各部署		適時	適時	ME	0		OK																																	
合計				652		1316		551	765	FALSE	0	3	26	92	0	172	572	265	0	48	46	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	599	0	1	0	20	0			1,027	

*毎月の点検回数は目安であり、機器の使用状況によって変更することがあります。

関西医科大学附属枚方病院 医用工学センター 平成21年度保守点検計画

No.	業事法による分類	一般名	部署	保有台数 (台)	点検回数/ 年(1台当り)	総点検 回数	実施者	実際 (今現在)	年間 差異	点検完了	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		備考						
											予定	実際	予定	実際	予定	実際	予定	実際	予定	実際	予定	実際	予定	実際	予定	実際	予定	実際	予定	実際	予定	実際	予定	実際		予定	実際	予定	実際	予定	実際
1	人工心肺装置及び補助循環装置	人工心肺装置	手術室	1	1	1	メーカー、ME	1	0	OK			1						1														バッテリー交換								
		IABP・PCPS	GICU、CCU	4	1	4	メーカー、ME	0	4	FALSE										1					3								IABP-セーフティディスク・バッテリー交換(2年毎)								
2	人工呼吸器	人工呼吸器	中央管理(MEセンター)	65	2	130	メーカー、ME	58	72	FALSE		6		10	37	22		6	33	14							37				33	酸素センサー交換(1~1.5年)。流量センサー交換(3ヶ月~1年)。バッテリー(1年)等									
3	血液浄化装置	人工透析装置	血液浄化センター、他	14	1	14	メーカー、ME	0	14	FALSE															10		4					消耗部品定期点検・交換									
		持続的血液浄化装置	GICU、CCU、他	6	1	6	メーカー、ME	0	6	FALSE																	6						バッテリー交換								
4	除細動装置	除細動装置	各部署	25	2	50	ME	25	25	FALSE	25	24		1										25								バッテリー交換(1.5~2年毎)									
5	閉鎖式保育器	閉鎖式保育器	NICU、他	20	1	20	メーカー、ME	0	20	FALSE																22						適時酸素センサー交換・フィルター交換(3ヵ月毎) 18年バッテリー交換									
6	診療用高エネルギー放射線発生装置	診療用高エネルギー放射線発生装置	放射線科(リニアック室)	2	4	8	メーカー	2	6	FALSE			1	1	1	1			1					1	1	1	1			1	1										
合計				137		233		86	147	FALSE	25	30	2	12	38	23	0	6	34	15	1	0	26	0	36	0	48	0	0	0	34	0	1	0							

*毎月の点検回数は目安であり、機器の使用状況によって変更することがあります。
*各部署、メーカーと日程に関して打ち合わせが必要なものは、日程を変更することがあります。

関西医科大学附属枚方病院 医用工学センター 平成21年度保守点検計画(機器別)

No.	業事法による分類	一般名	型式	メーカー	管理番号	製造番号	配置部署	保有台数 (台)	点検回数 /年(1台 当り)	総点 検回 数	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		実施者			
											予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施		予定	実施	予定
1	人工心肺装置及び補助循環装置	人工心肺装置	スタックートSⅢ	ソーリン	/	10S5235	中央手術室	1	1				1							1															メーカー ME			
		経皮的人工心肺装置	SP-101	テルモ	/	102006	中央手術室	1	1												1																	
		大動脈内バルーンポンプ	CS98	エドワーズ	/	S83269-K9	GICU	3	1	3																												
			CS98	エドワーズ	/	S807062-C3	CCU																															
			CS100	エドワーズ	/	SA04321-15	CCU																															
2	人工呼吸器	人工呼吸器	SABINA(S)	日本光電	ME-C001	ARWL0257	CCU・GICU・4N 4N-ICU・6N病棟 6S病棟・8S病棟 9S病棟・10N病棟	21	2	42																										メーカー ME		
			SABINA(S)	日本光電	ME-C002	ARWL0103																																
			SABINA(S)	日本光電	ME-C003	ARWL0253																																
			SABINA(S)	日本光電	ME-C035	ARWL0234																																
			SABINA(S)	日本光電	ME-C036	ARWL0274																																
			SABINA(S)	日本光電	ME-C042	ARWL0275																																
			SABINA(S)	日本光電	ME-C044	ARWL0277																																
			SABINA(S)	日本光電	ME-C045	ARWL0276																																
			SABINA(S)	日本光電	ME-C046	ARWL0273																																
			SABINA(S)	日本光電	ME-C047	ARWL0153																																
			SABINA(S)	日本光電	ME-C048	ARWL0268																																
			SABINA(S)	日本光電	ME-C063	ARWE0071																																
			SABINA(S)	日本光電	ME-C064	ARWM0119																																
			SABINA(S)	日本光電	ME-C065	ARWL0255																																
			SABINA(S)	日本光電	ME-C066	ARWL0100																																
			SABINA(S)	日本光電	ME-C067	ARWL0101																																
			SABINA(S)	日本光電	ME-C069	ARWL0256																																
			SABINA(S)	日本光電	ME-C070	ARWL0235																																
			SABINA(S)	日本光電	ME-C071	ARWL0102																																
SABINA(F)	日本光電	ME-C072	ARWL0254																																			
SABINA(F)	日本光電	ME-C073	ARWL0118																																			

No.	薬事法による分類	一般名	型式	メーカー	管理番号	製造番号	配置部署	保有台数 (台)	点検回数 /年(1台 当り)	総点 検回 数	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		実施者				
											予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施		予定	実施	予定	実施
2	人工呼吸器	人工呼吸器	EVT-4000	日本光電	ME-C004	ARWM0243	CCU・GICU・4N・ 4N-ICU・7N病棟	16	2	32																										メーカー ME			
			EVT-4000	日本光電	ME-C005	ARWM0149																																	
			EVT-4000	日本光電	ME-C037	ARWM2006																																	
			EVT-4000	日本光電	ME-C038	ARWM0350																																	
			EVT-4000	日本光電	ME-C039	ARWM0207																																	
			EVT-4000	日本光電	ME-C040	ARWM0240																																	
			EVT-4000	日本光電	ME-C041	ARWM0349																																	
			EVT-4000	日本光電	ME-C043	ARWM0241																																	
			EVT-4000	日本光電	ME-C050	ARWM0279																																	
			EVT-4000	日本光電	ME-C051	ARWM0242																																	
			EVT-4000	日本光電	ME-C052	ARWM0244																																	
			EVT-4000	日本光電	ME-C056	ARWM0203																																	
			EVT-4000	日本光電	ME-C057	ARWM0348																																	
			EVT-4000	日本光電	ME-C058	ARWM0205																																	
			EVT-4000	日本光電	ME-C059	ARWM0204																																	
			EVT-4000	日本光電	ME-C068	ARWM0150																																	
			ベネット840	タイコヘルスケア	ME-C053	3510053673	GICU	3	2	6																									メーカー ME				
			ベネット840	タイコヘルスケア	ME-C054	3510053679																																	
			ベネット840	タイコヘルスケア	ME-C055	3510053674																																	
			BiPAP Vision	フジ・レスピロニクス	ME-C007	120525	GICU	2	2	4																									メーカー ME				
			BiPAP Vision	フジ・レスピロニクス	ME-C008	119011																																	
			Baby log8000PLUS	ドレーゲル	ME-C020	ARTF0043	NICU	5	2	10																									メーカー ME				
Baby log8000PLUS	ドレーゲル	ME-C022	ARWL0083																																				
Baby log8000PLUS	ドレーゲル	ME-C023	ARWL0082																																				
Baby log8000PLUS	ドレーゲル	ME-C024	ARSF0047																																				
Baby log8000PLUS	ドレーゲル	ME-C025	ARWL0082																																				
			ハミングV	大黒	ME-C012	V7625	NICU	4	2	8																									メーカー ME				
ハミングV	大黒	ME-C017	V7305																																				
ハミングV	大黒	ME-C018	V7084																																				
ハミングV	大黒	ME-C026	V7385																																				

No.	業事法による分類	一般名	型式	メーカー	管理番号	製造番号	配置部署	保有台数(台)	点検回数/年(1台当り)	総点検回数	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		実施者							
											予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施		予定	実施	予定	実施			
2	人工呼吸器	人工呼吸器	インファントフロー	エアウォーター	ME-C014	06176	NICU	6	2	12																										メーカー ME						
			インファントフロー	エアウォーター	ME-C015	07606																																				
			インファントフロー	エアウォーター	ME-C016	06174																																				
			インファントフロー	エアウォーター	ME-C028	AFN01077																																				
			インファントフロー	エアウォーター	ME-C030	03434																																				
			インファントフロー	エアウォーター	ME-C031	03402																																				
						セクリスト	セクリスト	ME-C013	01582	NICU	3	2	6																									メーカー ME				
						セクリスト	セクリスト	ME-C019	14484																																	
						セクリスト	セクリスト	ME-C029	14531																																	
						ベアカブ750VS	IMI	ME-C027	53007108	NICU	2	2	4																									メーカー ME				
						ベアカブ750VS	IMI	ME-C074	53005743																																	
						VIP VIRD GOLD	IMI	ME-C032	AFM01240	5E	3	2	6																									メーカー ME				
						VIP VIRD GOLD	IMI	ME-C033	AFM01223																																	
						VIP VIRD GOLD	IMI	ME-C034	AFM01221																																	
						バラパック200DMRI	スミスメディカル	ME-C060	0509324	初療室 4N-ICU	3	2	6																									メーカー ME				
			バラパック200DMRI	スミスメディカル	ME-C061	0510331																																				
			バラパック200DMRI	スミスメディカル	ME-C062	0509323																																				
3	血液浄化装置	血液浄化装置	TR-3000M	東レメディカル	ME-H001	B5H063	人工透析室	20	1	20																									メーカー ME							
			TR-3000M	東レメディカル	ME-H002	B5H073																																				
			TR-3000M	東レメディカル	ME-H003	B5H074																																				
			TR-3000M	東レメディカル	ME-H004	B5H075																																				
			TR-3000M	東レメディカル	ME-H005	B5H076																																				
			TR-3000M	東レメディカル	ME-H006	B5H077																																				
			TR-3000M	東レメディカル	ME-H007	B5H078																																				
			TR-2000S	東レメディカル	ME-H008	A23C11																																				
			TR-2000S	東レメディカル	ME-H009	A14C27																																				
			TR-7000M	東レメディカル	ME-H014	A5XA18																																				
			JUN-505	ウベ循研	ME-H017	UA145	4N-ICU																																			
			JUN-505	ウベ循研	ME-H018	UA144																																				
			JUN-505	ウベ循研	ME-H019	UA143																																				
			JUN-505	ウベ循研	ME-H020	UA147	GICU																																			
			JUN-505	ウベ循研	ME-H021	UA146																																				
			JUN-505	ウベ循研	ME-H022	UA160	CCU																																			
			TR-2000S	東レメディカル	ME-H023	95C08	GICU																																			
			TR-7000S	東レメディカル	ME-H025	A59B05	TR-7000S																																			
TR-2000S	東レメディカル	ME-H026	A14C28	TR-2000S																																						
TR-2000S	東レメディカル	ME-H028	95C07	MEセンター																																						

No.	薬事法による分類	一般名	型式	メーカー	管理番号	製造番号	配置部署	保有台数 (台)	点検回数 /年(1台 当り)	総点 検回 数	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		実施者																																					
											予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施		予定	実施	予定	実施																																	
4	除細動装置	除細動装置	TEC-7731	日本光電	ME-F002	00076	CCU・GICU・4N 4N-ICU・6N病棟 6S病棟・8S病棟 9S病棟・10N病棟	25	2	46	25	24	1																								メーカー ME																																			
			TEC-6100	日本光電	ME-F003	04399																																																																		
			TEC-7731	日本光電	ME-F004	00113																																																																		
			TEC-7731	日本光電	ME-F005	00123																																																																		
			TEC-7731	日本光電	ME-F006	00127																																																																		
			TEC-7731	日本光電	ME-F007	00112																																																																		
			TEC-7731	日本光電	ME-F008	00126																																																																		
			TEC-2312	日本光電	ME-F009	10170																																																																		
			TEC-7731	日本光電	ME-F010	00077																																																																		
			TEC-7731	日本光電	ME-F011	00124																																																																		
			TEC-6100	日本光電	ME-F012	04390																																																																		
			TEC-6100	日本光電	ME-F013	04398																																																																		
			TEC-7721	日本光電	ME-F014	00022																																																																		
			TEC-7721	日本光電	ME-F015	00037																																																																		
			TEC-6100	日本光電	ME-F016	04402																																																																		
			TEC-7721	日本光電	ME-F017	00004																																																																		
			TEC-6100	日本光電	ME-F018	0014																																																																		
			TEC-6100	日本光電	ME-F019	04395																																																																		
			TEC-6100	日本光電	ME-F020	04400																																																																		
			TEC-7511	日本光電	ME-F024	01047																																																																		
			TEC-7531	日本光電	ME-F025	00910																																																																		
TEC-7731	日本光電	ME-F026	00128																																																																					
TEC-6100	日本光電	ME-F027	04401																																																																					
		日本光電																																																																						
		日本光電																																																																						
5	閉鎖式保育器	閉鎖式保育器	V-2200G 21455	アトムメディカル	ME-L001	15Z5585	NICU・5N病棟	20	1	20																											メーカー ME																																			
			V-2200G 21455	アトムメディカル	ME-L002	15Z5586																																																																		
			V-2200G 21455	アトムメディカル	ME-L003	15Z5591																																																																		
			V-2200G 21455	アトムメディカル	ME-L004	15Z5587																																																																		
			V-2200G 21455	アトムメディカル	ME-L005	15Z5590																																																																		
			V-2200G 21455	アトムメディカル	ME-L006	15Z5594																																																																		
			V-2200G 21455	アトムメディカル	ME-L007	15Y7019																																																																		
			V-2200G 21455	アトムメディカル	ME-L008	15Y7018																																																																		
			V-2200G 21455	アトムメディカル	ME-L009	15Z5592																																																																		
			V-2200G 21455	アトムメディカル	ME-L010	15Z5589																																																																		
			V-2200G 21455	アトムメディカル	ME-L011	15Z5593																																																																		
			VI-2100GI	アトムメディカル	ME-L012	100127620010007																																																																		
			VI-2100GI	アトムメディカル	ME-L013	143815																																																																		
			VI-2100GI	アトムメディカル	ME-L014	100127620010006																																																																		
			V-2100	アトムメディカル	ME-L015	7052607																																																																		
			V-2100	アトムメディカル	ME-L016	711411																																																																		
V-2200G 21455	アトムメディカル	ME-L017	15Z5588																																																																					
V-808 21955	アトムメディカル	ME-L018	1628808																																																																					
VI-2100GI	アトムメディカル	ME-L019	1050813																																																																					
VI-2100GI	アトムメディカル	ME-L020	100127620010008																																																																					
VI-2100GI	アトムメディカル	ME-L021	1343814																																																																					
6	診療用高エネルギー放射線発生装置	診療用高エネルギー放射線発生装置	Clinac 21EX	バリアンメディカル	-	-	リニアック室	1	4	8				1	1							1																メーカー																																		
			Clinac 21iX	バリアンメディカル	-	-	リニアック室	1	4	8								1																																																						
合計								140	37	241	25	30	2	12	38	23	0	6	32	15	1	0	26	0	36	0	48	0	0	0	0	32	0	1	0																																					

* 毎月の点検回数は目安であり、機器の使用状況によって変更することがあります。
* 輸液ポンプ・シリンジポンプは、代替と交換しながら点検を行います。
* 新規購入機器の点検日程は変更することがあります。
* 各部署、メーカーと日程に関して打ち合わせが必要なものは、日程を変更することがあります。